



Mini Mini Midori + SDGs

ミニ ミドリ プラス エスチー・ジーズ

開催日時：令和5年8月20日（日）9時30分から16時30分まで（2部制）
実施場所；緑公会堂
第1部 9:30～12:30 / 第2部 13:30～16:30



実施報告書

子どものまちづくりイベント当日概要

【SDGs「発表」（6班分）】

- ・「お店」ごとに取り組んだSDGsを「お店」ごとに「発表」。
- ・「発表」は事前収録した映像形式でイベント当日大型モニターで放映。

【子ども実行委員の出店（6出店）】

- ・銀行・税務署、雑貨、ゲーム、カフェなど実施。

【協力企業・大学による出展（5者、1大学）】

- ・企業、大学によるワークショップやSDGsの取り組み紹介パネル等の掲出。

子どものまちづくりイベント企業見学会概要（協力企業2者）

- ・企業におけるSDGsの取り組みを見学。

P 1	目次	P 35	8.サインデザイン-①
P 2	1.実行委員募集	P 36	8.サインデザイン-②
P 3~4	2.実施概要・実施実績	P 37	8.サインデザイン-③
P 5	2.会場配置図【2階】	P 38	9.スケジュール 8/19(土) 設営タイムスケジュール
P 6	2.会場配置図【3階】	P 39	9.スケジュール 8/20(日) タイムスケジュール
P 7	3.子ども実行委員会記録：第1回子ども実行委員会	P 40	10.参加者参加概要(受付業務)
P 8	3.子ども実行委員会記録：第2回子ども実行委員会	P 41	10.受付・入場手順(総合案内業務も兼務)
P 9~15	3.子ども実行委員会記録：第3回子ども実行委員会	P 42	10.「学校」ブース-①
P 16	3.子ども実行委員会記録：第4回子ども実行委員会	P 43	10.「学校」ブース-②
P 17	3.子ども実行委員会記録：第5回子ども実行委員会	P 44	10.「銀行・税務署」ブース 業務-①
P 18~24	4.「発表」展開概要	P 45~46	10.ジョブセンターブース 業務-②
P 25	5.売上およびワークショップ等参加実績	P 47	10.出展者共通事項(子ども実行委員出店：6店/企業ワークショップ3店など)
P 26	5.記録用紙(抜粋)	P 48	10.アルバイト募集について
P 27	6.企業見学会 全体概要	P 49	11.企業ブース展開
P 28	6.企業見学会 見学会当日スケジュール	P 50	12.アンケート-①
P 29	6.企業見学会 見学会ノート(横浜信用金庫中山支店)-1	P 51	12.アンケート-②(子ども用)
P 30	6.企業見学会 見学会ノート(横浜信用金庫中山支店)-2	P 52~54	12.アンケート集計①(子ども)
P 31	6.企業見学会 見学会ノート(スイソテラス)-1	P 55~59	12.アンケート集計②(大人)
P 32	6.企業見学会 見学会ノート(スイソテラス)-2	P 60~66	実施状況写真
P 33	7.制作物デザイン-①		
P 34	7.制作物デザイン-②		

1. 実行委員募集



子ども実行委員募集概要

応募資格：緑区在住及び在学の小学校3年生以上高校3年生以下の子ども

募集期間：令和5年6月9日（金）～6月25日（日）まで

募集人員：20名程度

●応募92名、実行委員決定22名、最終参加者20名

■募集チラシ おもて

Mini Mini Midori + SDGs
子どものまちづくりイベント

子ども実行委員募集!

Mini Mini Midoriは、緑区で年に1度だけ開かれる「子どものまち」です。
今年の子どものまちには「SDGsの17の目標」や「脱炭素」の視点がありました。
まちづくりがSDGsにつながっているなんて、なんだかワクワクしませんか？
さあ、あなたも子ども実行委員になって、子どものまちづくりでSDGsを学んで！体感して！
一緒に緑区にSDGsを広げていきましょう!!

応募方法

緑区在住または在学の
小学校3年生以上
高校3年生以下の子ども

募集人数 **20人程度**

令和5年
募集期間 **6/9(金)～6/25(日)**

参加費 **無料**
※交通費などの実費は、各自負担

二次元コードより
電子申請で申込み

活動期間(予定)

令和5年
7/9(日)～8/20(日) **全7回**
予定

7/9(日) オリエンテーション(13時～16時)
8/20(日) 子どものまちづくりイベント当日

※そのほかの活動日は別途お知らせします。
※既定している日程に参加できることをご確認の上、お申込みください。

活動内容

- SDGs・脱炭素につながる取組みについて
緑区内の大学生と一緒に勉強します。
- 横浜市内の企業・大学等が進めるSDGs・脱炭素の
取組みを見学し、学習します。
- 子どものまちの出店準備として、店舗の商品・サービスが
どのSDGsの達成につながるかを考え、商品等を制作します。
- 子ども実行委員の活動を通して勉強してきたことを
パネル等にまとめます。
- イベント当日はお店の「店員」として活躍するとともに、
実行委員として活動してきた成果を発表します。

【主催】横浜市緑区
【問合せ】横浜市緑区 区政推進課 企画調整係
電話：045-930-2228 メール：md-kikaku@city.yokohama.jp

■募集チラシ うら

応募に際しての注意事項

- お申込みは表面の二次元コードから、お子さま1人につき1申請をお願いします。
- 申込多数の場合は抽選になります。
- 電子申請では、最後に「申込番号」がきますので控えてください。受付完了のメールはありません。

大人向けの注意事項・お願い事項

- 子どものまちづくりイベントについて**
 - 「子どものまちづくりイベント」とは、ドイツのミュンヘンで行われている「ミニ・ミュンヘン」の緑区版としてスタートした「子どもによる、子どものための、子どもだけのまち」です。
 - 「子どものまち」は、子ども主体のまちで、区役所、学校、銀行などのほか、様々なお店が出現し、独自通貨で買い物することができます。また、ジョブセンターで仕事を見つけて働き給料をもらったり、まちで買い物やサービスを楽しむことができ、経済の循環を体験することができます。
 - 令和5年度の子どものまちづくりでは、まちで販売する商品やサービスを通して、SDGsの17の目標を知り、体感することができます。
 - イベントは、令和5年8月20日(日)に緑公会堂で実施予定です。
- 子ども実行委員について**
 - 活動期間は、7月9日(日)オリエンテーションから8月20日(日)のイベント当日までとされていますが、イベント後に報告会の実施を検討しています。実行委員会全体の日程については別途ご案内いたしますが、学校の夏休み期間に集中して実施する予定です。
 - 子ども実行委員の決定のご連絡など、以後のご連絡は全てメールとなります。電子申請の登録メールアドレスは、ご連絡のつく保護者の方のメールアドレスをお願いします。
- 全体について**
 - 大人スタッフは進行管理や相談、サポートを行います。基本的には子どもたちが自分の方で考え、悩み、解決することが大切と考えますので、保護者の皆さまには温かく見守っていただければと思います。
 - 活動の様子は、ホームページ・広報誌等で紹介します。子ども実行委員の申込時には、お子様の写真、動画(YouTubeを含む)、お名前(ニックネーム)の使用許諾に際してご同意をいただけることが前提となります。また、子ども実行委員決定後に、写真等掲載承諾書をご提出いただきます。

子どものまちづくりイベント 緑区ウェブサイトはこちら

Mini Mini Midori プラスSDGsが目指すもの

緑区では、令和元年度の区制50周年記念事業から、緑区運営方針の基本目標である「次世代につながるみんなにやさしいまちふるさとみどり」に向け、次世代を担う青少年の育成として「子どものまちづくりイベント」を実施してきました。本イベントは、まちを構築する実行委員と当日のイベント参加者のそれぞれが、まちづくりや経済の仕組み等を学ぶことができ、毎年95パーセント以上の子どもたちが「また参加したい」と思っていたイベントとして続けていくことができました。

今年度は、これまでの取組みを大切にしながら、本イベントに「SDGsの視点」「脱炭素社会実現に向けた視点」を取り入れて進めていくことで、次世代を担う子どもたちとともにSDGsや環境学習を推進し、緑区全体でSDGs・脱炭素の取組みを進めていくことを目標としています。

横浜市環境政策推進課SDGs推進係より

2.実施概要



■ 催事名称

Mini Mini MidoriプラスSDGs

■ 開催日時

(準備日) 令和5年8月19日(土)

(本番日) 令和5年8月20日(日)

■ イベント実施会場

緑公会堂(横浜市緑区寺山町118)

■ 参加資格と申込方法

① 緑区在住または在学の小学1年生以上高校3年生以下。保護者の付添なしで参加できる方。

各回(午前・午後)250人(合計500人) ※応募者多数により抽選で選出

② 横浜市電子申請システムで申込み 申込期間: 令和5年7月14日(金)～31日(月)

■ 参加費 1回あたり300円(1人各回1回のみ参加)

■ 準備期間

① 運営ミーティング

4/19(水) 初回打合せ、4/25(火) 東洋英和女学院大学打合せ、5/2(火) 公会堂下見と打ち合わせ、5/18(木) 企業見学会 横浜信用金庫中山支店打合せ、6/7(水) 企業出展 村田製作所打合せ 6/12(月) 企業出展誘致に関する打合せ、6/28(水) 東洋英和女学院大学ZOOMで打合せ、7/19(水) 企業見学会打合せ、また、企業見学会(横浜信用金庫中山支店、スイソテラス運営会社ENEOS株式会社など)やその他打ち合わせを実行委員会の前後に行った。

② 子ども実行委員会(22名→開催日に20名に減少)

● 1回目7/9(日) 13時～16時: 緑区役所会議室(オリエンと実行委員会)

● 企業見学会開催 7/26(水)11時と14時より各1時間 水素ステーション(スイソテラス)と横浜信用金庫中山支店の2か所

● 2回目8/5(土) 13時～16時: 緑区役所会議室(実行委員会)

● 3回目8/10(木) 13時～16時: 緑区役所会議室(実行委員会)

● 4回目8/17(木) 9時30分～12時30分: 緑区役所会議室(実行委員会)

● 5回目8/19(土) 13時～16時: 公会堂※荒天のため8/14(月) 実施回の代替日として実施。

③ ボランティアおよびSDGs研究会Comraderyへの説明会

6/28(水)10時～12時 教授および学生ボランティア、研究会学生とZOOMで情報共有を行った
また、ボランティア担当教授、研究会とは適宜情報共有を行った。

2. 実施実績



■ 8/20 (日) 実施実績

- 実行委員 20名
- イベント参加者および付き添い者
- 午前の部 (9:30~12:30) ・ ・ ・ 子ども (参加者) 206人
保護者 201人
- 午後の部 (13:30~16:30) ・ ・ ・ 子ども (参加者) 174人
保護者 160人
合計 子ども (参加者) 380人
保護者 361人
- 東洋英和女学院大学 (以下、東洋英和ボランティアという) ・ ・ ・ 9人
- SDGs研究会Comradery ・ ・ ・ 4人

■ 実施構成

- 主催：横浜市緑区役所区政推進課
- 運営：株式会社エヌクリエイション
- 運営協力：東洋英和ボランティア (全体運営・SDGs監修)
- 協力&協賛：東洋英和ボランティア (ワークショップ、パネル展示)
株式会社村田製作所 (ワークショップ、パネル展示)
横浜信用金庫 中山支店 (企業見学、「銀行・税務署」ブース運営補助)
ENEOS株式会社 (企業見学[スイソテラス])
株式会社良品計画[無印良品 500 ビーンズ中山] (ワークショップ、パネル展示)
株式会社横浜銀行 中山支店 (パネル展示)
株式会社ビルド (パネル展示、ワークショップ資材提供)
- SDGs監修：東洋英和女学院大学 国際社会学部 教授 河野毅、SDGs研究会 Comradery学生

■ 実行委員会推進および当日運営に関する基本姿勢

● 基本方針

日程が限られることと、参加世代の幅を考慮 (小学校3年生から中学校2年生) し、実行委員会の未達回避とSDGsへの理解深度を図りながら進める必要があることを念頭に本事業を推進した。

● 運営推進に関する基本姿勢

東洋英和ボランティア (「お店」や「発表」の実務フォロー) とSDGs研究会 Comradery学生 (SDGsへの考え方をフォロー) を各班に配置し、子ども実行委員会へのSDGsの考え方と「お店」の運営実務の結びつきを適宜確認し、推進を行った。

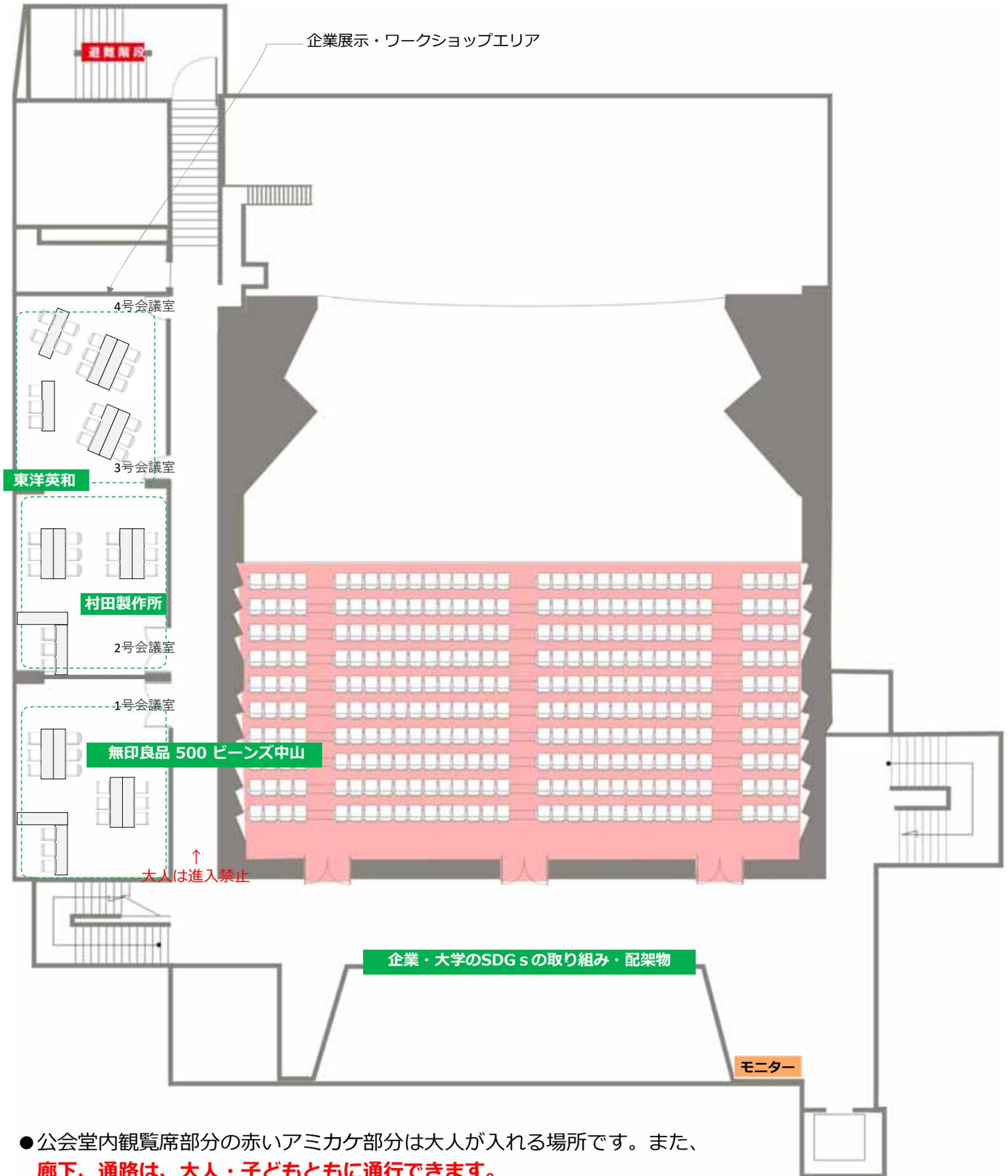
● 「発表」に関する実施概要

「発表」については公会堂のキャパシティ等を考慮し事前に撮影・編集を行った動画を開催当日大型モニターで放映した。

● 東洋英和ボランティア SDGs研究会 Comradery学生への効果

学生の「学びの場」としてそれぞれに主体的な責任を与えることで、授業より得られる情報をいかに伝えられるか、実践できる場を提供することを狙った。

2.会場配置図【3階】



- 公会堂内観覧席部分の赤いアミカケ部分は大人が入れる場所です。また、廊下、通路は、大人・子どもともに通行できます。
- 企業展示・ワークショップエリアへの大人入場は不可。

3.子ども実行委員会記録：第1回子ども実行委員会



■第1回子ども実行委員会【7月9日（日）13時～16時】

- 参加者 子ども実行委員：19人／株式会社エヌクリエイション：3人／東洋英和ボランティア4名、Comradery 8人／東洋英和女学院大学 教授、准教授3人／緑区3人

■内容

1. Mini Mini MidoriプラスSDGs主催者挨拶、関係者挨拶
 2. 実行委員自己紹介
 3. 事業の全体概要説明
 - ・まちづくり「お店」、SDGs「発表」の概要説明
 - ・今後の実行委員会スケジュール説明
 4. まちづくり「お店」内容説明
 5. SDGs概要説明
 6. SDGs「発表」内容説明
 7. 宿題（課題）の説明・・・自身が想定する「お店」のSDGsへの取り組みをイメージ。
- ※班分けは第2回実行委員会開催時に発表することとなった（「お店」の業種による振り分けを主催者で行うこととした）。

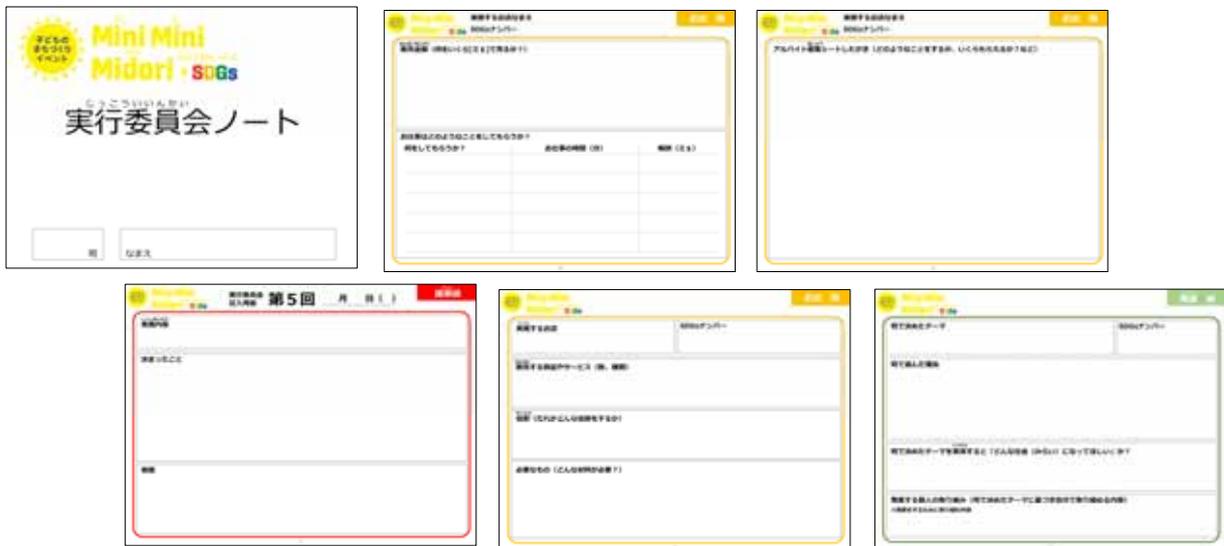


■「お店」についてのリクエスト収集

- 実行委員の行いたい「お店」のリクエストを収集し、第2回実行委員会での班分けの材料とした（班分けは、同種の内容の実行委員を同じ班にすることで、SDGsを考える上での総意を出しやすい班づくりとした）。

■子ども実行委員への“気づきノート”「実行委員会ノート」を配布

- 今後の実行委員会の情報や、決めたこと、考えたことを記入するノートを配布した。



※実行委員会ノート（イメージ）

3.子ども実行委員会記録：第2回子ども実行委員会



■第2回子ども実行委員会【8月5日（土）13時～16時】

- 参加者 子ども実行委員18人／株式会社エヌクリエイション：4人／東洋英和ボランティア6人、Comradery 3人／東洋英和女学院大学 准教授2人／緑区3人

■内容

1. あいさつ

- ・今日のながれについて
- ・「お店」（班分け）決定

2. 「発表（動画）」作成

- ・「お店」ごとにSDGsテーマ、テーマ理由、取り組みなどを決定

3. 「お店」話し合い①（販売物などの決定）

- ・役割分担、店長選出→決定、販売毎の担当など決定
- ・通貨「ミ\$」についてのルールや説明など
- ・商品、商品の数、値段、商品づくりに必要な物品を決定 ※30～80ミ\$程度がよい

4. 「お店」話し合い②（アルバイト、「お店」レイアウトなどの決定）

- ・アルバイト内容、人数、アルバイト代などの決定

5. 「お店」ごとに決まった店名、販売物、取り組むSDGsを発表（店長ごとに発表）

6. 第3回実行委員会のながれについて



SDGsの基礎を学ぶ



「お店」とSDGsの関係性を学ぶ



SDGsと「お店」の取り組みを決めます



「お店」について発表

3.子ども実行委員会記録：第3回子ども実行委員会



■第3回子ども実行委員会【8月10日（木）13時～16時】

- 参加者 子ども実行委員：17人／株式会社エヌクリエイション：5人／東洋英和ボランティア8人、Comradery 2人／東洋英和女学院大学 准教授2人／緑区3人

■内容

1. あいさつ

- ・今日のながれについて

2. 「SDGs発表（動画）」作成

- ・発表ボード作成と発表練習→出来上がった班から撮影（3班分の撮影を実施）

3. 「お店」作成①

- ・前回決まらなかったことを決める
(店長や役割分担、「お店」のレイアウトイメージなどの決定した。)

4. 「お店」作成②

- ・商品の作成
・アルバイト募集チラシや商品の宣伝など、運営に必要なものを作成した。

5. 発表

- ・今日の実行委員会で決定したこと、行ったことを発表

6. 第4回実行委員会で行うこと



1班宝くじを作成



2班商品を試作



3班商品を試作



4班店長をみんなで決めます

3.子ども実行委員会記録：第4回子ども実行委員会



■第4回子ども実行委員会【8月17日（木）9時30分～12時30分】

- 参加者 子ども実行委員：19人／株式会社エヌクリエイション：4人／東洋英和ボランティア4人、Comradery 2人／東洋英和女学院大学 准教授2人／緑区3人

■内容

1.挨拶～第4回実行委員会 本日のスケジュール説明

- ・第3回から繰越作業について
(発表未撮影班の撮影、商品、販売資材の作成など)

2.イベント開催に関するお知らせ

- ・「銀行・税務署（1班）」の資金について・・・販売で得る資金が少額なため「給料」として支給する旨を確認した。
- ・Mini Mini MidoriプラスSDGsで使用できるミ\$について・・・以前の開催時の事業から繰り越して所持している参加者や実行委員のミ\$について当事業では使用できない旨周知した。
- ・イベント当日（8/20(日)）の注意事項（集合時間、持ち物など）

3.「お店」作成～未決定事項の決定～

- ・第3回実行委員会で決まっていない事項の決定
「お店」のレイアウトやアルバイト求人チラシの作成や商品のPOP、店舗設えなど運営や装飾に関わることを作成。

※「発表」撮影は未撮影の3班分を行った。

4.荒天で繰り越された代替日（8/19）の実施概要（第5回実行委員会）の実施内容説明 (集合時間、集合場所、作業内容など)



3.子ども実行委員会記録：第5回子ども実行委員会



■第5回子ども実行委員会【8月19日（土）13時～16時】

※8/14(月)荒天のため延期した代替日として実施

- 参加者 子ども実行委員：15人／株式会社エヌクリエイション：5人／東洋英和ボランティア7人、Comradery 4人／東洋英和女学院大学 准教授3人／緑区3名

■内容

- 1.実施場所が緑公会堂であるため、実行委員は各班の配置場所で商品作成や、アルバイト募集チラシの作成、陳列などを行った。また、銀行・税務署（1班）は宝くじの当選番号の仕込みやミ\$へのスタンプ押印を行った。
- 2.各管理書面の配布と記入方法、提出タイミングや、企業・団体においては「納税」のタイミングを周知した。

■会場設営に関して

- 1.9時から13時を会場設営時間とし、椅子テーブルの配置、モニターの設置、展示パネルの配置を行った。
- 2.設営は東洋英和ボランティアとSDGs研究会 Comradery学生に協力いただき実施した。



1班準備（ミ\$へのスタンプ）



2班会場準備



4班準備



5班準備

4. 「発表」 展開概要

概要

実行委員会開催中5回において「お店」業務とSDGsの関連性について、およびそのSDGsについての「発表」制作。

「発表」内容・手法

【「発表」内容】

- 班ごとに分かれた「お店」で決めた内容の発表を行った。
- 「発表」は、A3用紙程度所定の用紙に実行委員会開催中に記入し、記入用紙と共に班ごとに発表。
 - ・・・テーマ→「お店」単位で取り組むSDGsのテーマを決めます（記載）。
 - ・・・選んだ理由と取り組むところなる（こうなってほしい）。
 - ・・・テーマに基づく班（「お店」）として取り組むSDGsに係る内容を記載。
- 発表方法は事前に所定用紙と共に班員全員で動画収録を行い、イベント当日会場に設置した大型モニター（65型）で放映。
※発表方法の演出は実行委員の自由な演出とした（テーマ等の記載概要は統一）



※「発表」シート



子ども実行委員

太陽銀行

発表 ボード

① お店で決めたSDGsのテーマとSDGsナンバー
 8 働きがいも経済成長も
 16 平和と公正をすべての人に

② 「①」のテーマを決めた理由
 8: お店に資金を貸して、社会を支える銀行にしたいから。

 16: 経済の中心が明るいと、周りも明るくなって
 パートナースhipが深まり平和につながる
 明るい銀行

③ 「商品」や「お店の運営」で取り組むこと
 商品 → 宝くじ
 お店の運営 → 来見しみやすく

④ 「③」を続けるためにはどうすればいいだろう？

- ・たいとをあらためる
- ・みんなにやさしく

⑤ SDGsを通じてどんな社会にしたい？

- ・明るい社会
- ・節電する

子ども実行委員
KTI 雑貨店

2班

**発表
ボード**

① お店で決めたSDGsのテーマとSDGsナンバー

5. ジェンダー平等を実現しよう
12. つくる責任つかう責任 4. 5. 12. 14. 15

② 「①」のテーマを決めた理由

- 「女の子向け」「男の子向け」をなくし、ジェンダーを気にせず買い物を楽しめるお店にすることでゴール5につながるか
- 捨てるもの目を向け、活用して商品にすることでゴミを減らし生産者と消費者としての責任を果たせると考えたから。

③ 「商品」や「お店の運営」で取り組むこと

- 「女の子だからこれがおすすめ」「男の子だからかっこいいもの」というように性別ごとに価値観を押しつけないことをスタッフ間で共有する。
- 古着、使わなくなったビーズ、紙パックを利用して商品にする。

④ 「③」を続けるためにはどうすればいいだろう？

- 「女の子だから」「男の子だから」と言っている人に回りが優しく声をかける。
- 使わなくなった物をすぐに捨てるのではなく、再利用できる事をみんなに知ってもらう。

⑤ SDGsを通じてどんな社会にしたい？

みんながくらしやすい社会にしたい。

Mini Mini Midori + SDGs 子ども実行委員

キラキラ工作店 3班

発表ボード

① お店で決めたSDGsのテーマとSDGsナンバー

12 つくる責任 つかう責任

② 「①」のテーマを決めた理由

実行委員が、売る商品をつくることもするし、つかうこともするから。

③ 「商品」や「お店の運営」で取り組むこと

- ・新聞紙をつかてかばんをつくる。+チラシ
- ・プラ板をおまさずつかう。
- ・ボックスをおいて、プラ板をさい利用する。

④ 「③」を続けるためにはどうすればいいだろう？

- ・さい利用ボックスをつくる。
- ・プラ板をむだにしない。

⑤ SDGsを通じてどんな社会にしたい？

みんなが楽しめる社会にしたい!!



Mini Mini Midori + SDGs 子ども実行委員

子どもゲームセンター 発表ボード

① お店で決めたSDGsのテーマとSDGsナンバー

10 人や国の不平等をなくそう。

②「①」のテーマを決めた理由

10 全ての人がみんな楽しくできるようにしたいから。

年れいごとに不平等にならないように。

③「商品」や「お店の運営」で取り組むこと

16 ● しゃべりのてぼうをむけたり、にんげんを守る。
3.13.6.11.12.14!5 ゴミ出さない店作り

④「③」を続けるためにはどうすればいいだろう？

ポスター
どりょくとしき
アルバイトにおまがらる

⑤ SDGsを通じてどんな社会にしたい？

みんな未来にみやり
くらしがよい社会
全員が安心安全で健
康にくらす街
ドリンクがたまる街





子ども実行委員

発表 ボード

5班

① お店で決めたSDGsのテーマとSDGsナンバー

⑫

つくる責任、つかう責任

∞

👧

② 「①」のテーマを決めた理由

ごみを減らすことが出来るから
 使わなくなった新聞の再利用
 捨てるお人形を減らせるから

③ 「商品」や「お店の運営」で取り組むこと

- ・ たかしやの前に箱をおいて、なるのプラバンやのごみを入れてもらい、それらのごみをおかしのふくろにつけてデコレーションする。
- ・ ふくろに絵を描く。
- ・ 宝探し
- ・ 捨てるお人形を売る
- ・ パラ売りをする

④ 「③」を続けるためにはどうすればいいだろう？

- ・ 系統けるために、回収のシステムを作る

⑤ SDGsを通じてどんな社会にしたい？

ごみがたくさんでない社会



子ども実行委員

6班

発表 ボード

① お店で決めたSDGsのテーマとSDGsナンバー

11 住み続けられるまちづくりを 12 つくる責任 つかう責任

② 「①」のテーマを決めた理由

11 ⇒ 一人で来た人でも、このお店で周り交流することで、ミニミニドリを楽しんでほしいから。

12 ⇒ リサイクルができる商品をだす。

③ 「商品」や「お店の運営」で取り組むこと

「お店の運営」

- 集まった人でゲームをしても5分(テーブルごとでゲームを変える)
- テーブルにプロシール帳をおいておく。自由に書ける。
- 「100」の「00」を、お店に来た人5人に決めてもらう。

「商品」

- 新パックのものを売る。
- SDGsに関係している商品を売る。

④ 「③」を続けるためにはどうすればいいだろう？

11 ⇒ 学校で、あまり話したことがない人とも話しかけてみる。

12 ⇒ お店で、SDGsに関係する商品を探してみる。

⑤ SDGsを通じてどんな社会にしたい？

身近な人みんなが仲良くできる社会

5. 売上およびワークショップ等参加実績



班別売上実績(ミ\$)		
班名	午前	午後
1班「太陽銀行」(「銀行・税務署」)	※公共機関の為売上は記録せず	
「宝くじ販売」@40ミ\$×合計200枚販売	100枚	100枚
2班「KTI雑貨店」	1230ミ\$	1210ミ\$
3班「キラキラ工作店」	1600ミ\$	1520ミ\$
4班「みどりゲームセンター」	4780ミ\$	
5班「わくわくショップ」	3640ミ\$	1640ミ\$
6班「カフェ・〇〇」	8330ミ\$	15040ミ\$

※午後の売上報告は任意

企業・学校ワークショップ参加実績(人)			
名称	午前	午後	合計
村田製作所	180		180
東洋英和女学院大学	61	99	160
無印良品 500 ビーンズ中山	78	72	150

売上管理表

2 班

品名	数量	販売額	単価	販売数 (この中で販売)	合計売上金額
さんちやく	6	210	35	5	210
パンケース	7	350	50	7	350
伊勢屋 おにぎり		420	20	21	420
伊勢屋 おにぎり		20	10	2	20
フィッシュバー (ス)	3	90	30	3	90
フィッシュバー (L)	7	140	20	7	140
しりし	35		10		
キナー	35		10		
合計金額		1230			
税金(総売り上げの10%)		123			
純利益		1107			

売上管理表

4 班

品名	数量	販売額	単価	販売数 (この中で販売)	合計売上金額
おなげ		420		21	420
しりし		1620		162	1620
かた		910		91	910
ウイダー		480		48	480
おかし		820		82	820
くじ		240		24	240
合計金額		4490			4490
税金(総売り上げの10%)		449			449
純利益		4040			4040

6.企業見学会 全体概要



概要

- ・事業者によるSDGsへの取り組みを学ぶことを目的とする見学会を実施。
- ・事業者は、横浜信用金庫中山支店（金融）とENEOS株式会社「スイソテラス」（脱炭素）。
- ・移動にはマイクロバス（25名乗車）を使用。2チームに分け中山と綱島の会場を移動し実施。

実施内容

名称	実施時間・参加者数	概要
横浜信用金庫 中山支店	①11:00~12:00・10名/②14:00~15:00・11名	金融（お金の学校）
スイソテラス	①11:00~12:00・11名/②14:00~15:00・9名	ENEOS 水素ステーションの紹介

見学会スライドイメージ

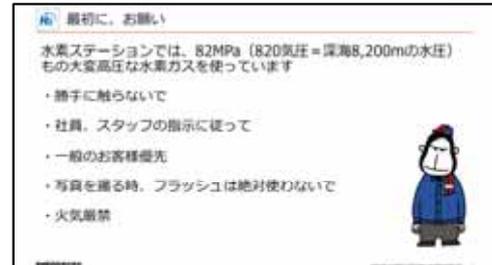
横浜信用金庫 中山支店

「お金ってなんだろう？」
～横浜信用金庫とSDGsについて～
スライド約17枚



スイソテラス

「ENEOS 水素ステーションの紹介」
スライド約20枚





きぎょうけんがく
企業見学会

7月26日(水)

議事録
※提出してください。

<p>見学企業・場所 よこはましんようきんこなかやましてん 横浜信用金庫中山支店</p>	<p>班名、見学時間、 A 班 11:00 ~ 11:50</p>
<p>学んだこと (テーマや知ったこと など)</p> <p>お札は物々交換の媒介として使われていた。今は紙幣で済むようになった。</p> <p>お札の大きさ(100円) → 津田梅子(お札の大きさ) → 40円</p> <p>120円 → 30円</p> <p>信用金庫への仕事</p> <ol style="list-style-type: none"> ① お金を貸す (お金の家は建てた人から借りてくれる) ② お金を預ける ③ お金を貯める <p>銀行とSDGsの関係</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 生活に役立つお金の使い方 (例: ① 貯蓄) ・ 社会貢献 (例: ② 社会貢献) ・ 住みやすさ (例: ③ 社会貢献) ・ 安心安全 (例: ④ 社会貢献) <p>→ カレは、お金は、いつか返す</p> <p>(例) 100万円が12%の利息で返す 100万 × 12% = 12万 返してもらうお金 112万</p> <p>銀行で働いている人の給料??</p>	
<p>見学して今後自分でできると思ったこと かんぎょうをよくして、安心してくらせるようになる</p>	

きぎょうけんがく
企業見学会

7月26日(水)

議事録
※提出してください。

<p>見学企業・場所 よこはましんようきんこなかやましてん 横浜信用金庫中山支店</p>	<p>班名、見学時間、 B 班 14:00 ~ 15:05</p>
<p>学んだこと (テーマや知ったこと など)</p> <p>お金 → あるものの価値を示す (1円 = 1個100円など) → お金とものを交換する (100円払って1個もらう)</p> <p>世界の銀行のつながり、世界全体の金の流れを知る。</p> <p>信用金庫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 業務内容は銀行とほぼ同じだが、銀行では業務できない地域が生まれ、お金を借りた人にお金を貸す。 ・ お金を預けた人のお金を預かる。 <p>MアントA - 信用金庫が企業にお金を貸し、企業も信用金庫に預ける。法律で地域が指定されている。</p> <p>信用金庫にお金を預けると、利息としてお金が少し増える。 信用金庫にお金を預けると、家よりもお金を盗まれにくくなる。</p>	
<p>見学して今後自分でできると思ったこと 時代が変わって、お金の価値が変わり、自分のやりたいことができなくなるかもしれないが、常に世界の状態を知ることは正しいタイミングでお金を使うようになることができると思った。</p>	

Mini Mini Midori + SDGs きぎょうけんがく **企業見学会** 7月26日(水) **議事録**

見学企業・場所 よこはましんようきんこななかやましてん **横浜信用金庫中山支店** 班名、見学時間、 **A 班 11:00 ~ 12:00**

学んだこと (テーマや知ったこと など) **信用金庫と銀行のつながり** 銀行はお金を信託して預けてお金の使われ方を管理している。信用金庫は地域の人のために、お金を貸す、預ける、送るなどのサービスを提供している。

お金の使い方(3つ) ①お金をあずかる(預金) ②お金を貸す(貸出) ③お金を送る(送金)

① 100万円×10日×年利2% = 100万円×0.02×10 = 20万円 (102万円)

② お金を貸すサービス ③ お金を送るサービス

見学して今後自分でできると思ったこと **大人になったとき、このお金のことを覚えておきたい。お金の事や他の色々なお金のことを勉強してみたい。**

Mini Mini Midori + SDGs きぎょうけんがく **企業見学会** 7月26日(水) **議事録**

見学企業・場所 よこはましんようきんこななかやましてん **横浜信用金庫中山支店** 班名、見学時間、 **B 班 : ~ :**

学んだこと (テーマや知ったこと など) **信用金庫の仕事** ① 預金業務 (お金をあずかる) ② 貸出業務 (お金を貸す) ③ お金を送る

① お金をあずかる。お金の使われ方と利息を管理する。② お金を貸す。お客さんのために、お金を貸す。③ お金を送る。送金、振込など。

信用金庫は... 大企業ではなく、地域の人のために、お金を管理する。お金の事を勉強してみたい。

見学して今後自分でできると思ったこと **お金の事や他の色々なお金のことを勉強してみたい。**

7.制作物デザイン-1



当日配布チラシ

参加者、来場保護者に対し、公会堂内の利用方法や子どものまちへの入場方法、班ごとのSDGs発表テーマや販売予定メニューなど記載したA3両面フルカラーのチラシを1000枚作成し、入場時に配布した。

うら(表4)

おもて(表1)

内側(表2)

内側(表3)

お店ごとのSDGsへの取組みについて

子ども実行委員会による「Mini Mini Midori プラス SDGs」のお店では、お店ごとの商品・サービスがSDGsの目標達成につながるよう様々な取り組みを考え、実行し、お店をより上げてきました！ぜひ皆さんも、日々の生活の中でSDGsに取り組むきっかけにしてください！

子どものまち 商品紹介

<h4>1班 太陽銀行・税務署</h4> <table border="1"> <tr><td>販売商品</td><td>金額</td></tr> <tr><td>文くじ1冊</td><td>500 円</td></tr> <tr><td>文くじ3冊</td><td>100 円</td></tr> <tr><td>文くじ10冊</td><td>10 円</td></tr> </table> <p>●その他銀行ではお預り、アルバイト代金の支払いを行います。</p>	販売商品	金額	文くじ1冊	500 円	文くじ3冊	100 円	文くじ10冊	10 円	<h4>2班 KTI雑貨店</h4> <table border="1"> <tr><td>販売商品</td><td>金額</td></tr> <tr><td>巾着</td><td>40 円</td></tr> <tr><td>ペンケース</td><td>50 円</td></tr> </table> <p>ワークショップ(詳細は詳細説明書参照) ワークショップに参加して商品購入 ワークショップに参加して商品購入(2冊) 20 円 ワークショップに参加して商品購入(3冊) 30 円 ワークショップに参加して商品購入(4冊) 40 円</p>	販売商品	金額	巾着	40 円	ペンケース	50 円						
販売商品	金額																				
文くじ1冊	500 円																				
文くじ3冊	100 円																				
文くじ10冊	10 円																				
販売商品	金額																				
巾着	40 円																				
ペンケース	50 円																				
<h4>3班 きらきら工作班</h4> <table border="1"> <tr><td>販売商品</td><td>金額</td></tr> <tr><td>かばん</td><td>40 円</td></tr> <tr><td>キーホルダー(ワークショップ用)</td><td>30 円</td></tr> </table> <p>※種別をリストアップが終了したブライアンに、好きな色のリボンを通すワークショップです。</p>	販売商品	金額	かばん	40 円	キーホルダー(ワークショップ用)	30 円	<h4>4班 みどりゲームセンター</h4> <table border="1"> <tr><td>販売商品</td><td>金額</td></tr> <tr><td>おもちゃ</td><td>20 円</td></tr> <tr><td>ゴキブリ</td><td>10 円</td></tr> <tr><td>お宝</td><td>10 円</td></tr> <tr><td>びりびりゲーム</td><td>20 円</td></tr> <tr><td>くじ</td><td>10 円</td></tr> <tr><td>お宝</td><td>20 円</td></tr> </table>	販売商品	金額	おもちゃ	20 円	ゴキブリ	10 円	お宝	10 円	びりびりゲーム	20 円	くじ	10 円	お宝	20 円
販売商品	金額																				
かばん	40 円																				
キーホルダー(ワークショップ用)	30 円																				
販売商品	金額																				
おもちゃ	20 円																				
ゴキブリ	10 円																				
お宝	10 円																				
びりびりゲーム	20 円																				
くじ	10 円																				
お宝	20 円																				
<h4>5班 わくわくショップ</h4> <table border="1"> <tr><td>販売商品</td><td>金額</td></tr> <tr><td>大判</td><td>40 円</td></tr> </table> <p>お菓子の販売 お菓子の販売(2冊)にちなみ 30~40 円 お菓子の販売(3冊)にちなみ 10~20 円 お菓子の販売(4冊)にちなみ 20 円</p>	販売商品	金額	大判	40 円	<h4>6班 カフェ・〇〇</h4> <table border="1"> <tr><td>販売商品</td><td>金額</td></tr> <tr><td>ソフトドリンク</td><td>40 円</td></tr> <tr><td>ミルクティー</td><td>40 円</td></tr> <tr><td>カルピスウォーター</td><td>40 円</td></tr> <tr><td>チョコ</td><td>30 円</td></tr> <tr><td>パイの類</td><td>30 円</td></tr> <tr><td>焼き物</td><td>20 円</td></tr> </table> <p>●お店の名前は、お名前が好きな言葉を入れてもらいます。</p>	販売商品	金額	ソフトドリンク	40 円	ミルクティー	40 円	カルピスウォーター	40 円	チョコ	30 円	パイの類	30 円	焼き物	20 円		
販売商品	金額																				
大判	40 円																				
販売商品	金額																				
ソフトドリンク	40 円																				
ミルクティー	40 円																				
カルピスウォーター	40 円																				
チョコ	30 円																				
パイの類	30 円																				
焼き物	20 円																				

8.サインデザイン-1 (以降のページは「実施計画書(マニュアル)」より抜粋)



■タイトル看板_900*1800_1枚紙_貼付型
設置場所 公会堂2階入り口周辺

イベント会場 入口

午前の部 受付開始 9時15分から10時15分まで
イベント開催 ... 9時30分から12時30分

午後の部 受付開始 13時15分から14時15分まで
イベント開催 ... 13時30分から16時30分

※当イベントへの参加は事前申し込みとなります。
※会場内は一部保護者の方(大人)の通行が制限されています。

●公会堂のエントランスにある受付で参加の確認を行ってください。
●お申込み以外の時間帯への参加はできません。

主催：横浜市緑区
協力：東洋英和女学院大学、横浜信用金庫中山支店、株式会社村田製作所、
無印良品 500 ビーンズ中山、株式会社横浜銀行中山支店、株式会社ビルド

■屋外誘導看板_900*1800_1枚_自立型(ウェイトあり)
設置場所 公会堂1階EV周辺

イベント会場 (緑公会堂2階)

●階段またはエレベータで2階入口からご入場してください。

※当イベントへの参加は事前申し込みとなります。
※会場内は一部保護者の方(大人)の通行が制限されています。

午前の部 ▶▶ 9:30~12:30
午後の部 ▶▶ 13:30~16:30
※受付は各開始15分前より

主催：横浜市緑区
協力：東洋英和女学院大学、横浜信用金庫中山支店、株式会社村田製作所、
無印良品 500 ビーンズ中山、株式会社横浜銀行中山支店、株式会社ビルド

■受付看板_600*1800_1枚_自立型
設置場所 公会堂2階受付

受付

■2階公会堂内通行方向誘導看板_A3_2枚_自立型
設置場所 公会堂内2階通路

ここから先は大人は入れません。

← こちらを通行してください →

■おとな進入禁止表示_A3パウチ_10枚_貼付型

ここから先は大人は入れません。

■3階観覧席表示_A3紙_4枚_貼付型

大人観覧席

■2階会場入口表示_A3_4枚_自立型

入退場口

会場内は大人の方の通行規制がございます。

■ミS返却表示_A3_1枚_自立型

お帰りの際、ご所有のミSはこちらに返却ください。

■ジョブセンター表示_A3_1枚_自立型

ジョブセンター

アルバイトをさぐろう！

■企業展示・体験ゾーン看板_600*600_1枚_自立型

企業・学校ゾーン

■3階観覧席表示_A3紙_3枚各1枚_貼付型

無印良品 500 ビーンズ中山
〈ワークショップ〉
間伐材デコレーション

株式会社 村田製作所
〈ワークショップ〉
電子工作教室

東洋英和女学院大学
〈ワークショップ〉
東洋英和の「竹」を使用した自然素材の工作教室

■上映中表示_200*80_3枚_貼付型

Mini Mini Midori + SDGs
子ども実行委員会による
今日のお店の「SDGsへの取り組み発表」
の様子を放映しています。

8.サインデザイン-2



■協力企業 SDGs 取組パネル_各1枚



横浜銀行 594*724



㈱ビルド A2



横浜信用金庫①A2



横浜信用金庫②A2



東洋 A2



村田製作所① (w594)



村田製作所② (w594)

■ステージタイトル_4100*620 パネル_1枚紙_吊下げ型 ※吊看板(小)を借用



■ジョブストラップ_w100×h100_コート 65_4c/0c_約 100枚



8.サインデザイン-3

うら面デザイン



おもて面デザイン



10.参加者参加概要（受付業務）



概要

- ・参加は事前申込。
 - ・参加料は1名300円（受付で徴収）。
 - ・午前と午後の部で参加者を入れ替制で実施。
 - ・大人の「子どものまち」会場への入場はできません。公会堂観覧席でご覧いただきます。
- ※大人の通行制限動線あり詳細は会場図参照。

公共機関



- ① 申込リストで照合の後、入場者リストバンドお渡しする。
 - ② 大人観覧場所の説明を行う。
 - ③ 参加費徴収（300円）
 - ④ 「こどものまち区民証」と資金50ミ\$の配布
 - ⑤ 当日チラシ（A3二つ折り）※参加者にも配布
- ➡参加者（子ども）は入場したら、エントランス「学校」ブースへ移動する旨お伝えしてください。



- ① フリップボードを使用し参加方法（楽しみ方）の説明
- ➡参加方法を示した後、公会堂2階ステージにある「銀行・税務署」ブースへ移動する旨お伝えする。



- <もうらう>
- ① 区民税の徴収・・・区民税10ミ\$の徴収と徴収チェック（区民証にスタンプ押印）
※入場時に参加者全員が実施する。
 - ② 午前の部終了時にすべての「お店」・ワークショップの売上から10%の税金徴収→徴収残金はミ\$紙幣または預かり証の発行で対応
- <はらう>
- ① アルバイト報酬の支払い・・・ジョブカードに記載の金額（ジョブカードに記載の金額）
- <その他業務>
- ① 両替
 - ② 納税後残高「預かり証」の発行と、「預かり証」からのミ\$紙幣化
- ➡アルバイト希望者へ隣接するジョブセンターへ移動する旨お伝えしてください。

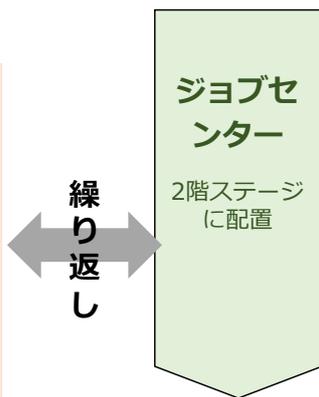
あそぶ！

アルバイトする！

お店

- ・初期資金を基に、好きな「お店」で楽しむ。
- ・お金（ミ\$）が無くなったら、**ジョブセンター**でアルバイトを探して、アルバイトを行い、報酬のミ\$を獲得。
- ・アルバイトは「お店」以外も募集します。

※アルバイト代に税金はなし。



- ① ジョブボードの設置したアルバイト求人を基にアルバイトを探す。希望の「お店」があった場合、ジョブセンタースタッフに希望を申し込もを行う。
- ② アルバイト希望者への「ジョブストラップ」渡しとアルバイト終了後の回収。
- ③ ジョブストラップ残数によるお手伝い満員状況に確認と満員等のアナウンス。
- ④ アルバイト情報の問い合わせ対応（内容、対象年齢や報酬、時間など）

- ・「お店」でアルバイトを行います。（最大20分間）
- ・報酬としてミ\$を銀行・税務署で支払います。

その他

- ・大人はイベント会場に入れないため（観覧席のみ入場可能）参加者（子ども）が大人エリアに入場し用件を済ませてください。
※緊急事態（病気、けがなど）は除きます。また、大人が会場内に進入を希望した場合は、職員、責任者の確認が必要です。
- ・公会堂2階エントランスロビーに休憩場所兼救護所（看護師不在）を設置。具合の悪い方や、休みたい方については、そちらをご案内。

10.受付・入場手順（総合案内業務も兼務）



受付手順(受付開始は各部ともイベント開始15分前)

受付参加者は事前申込となる為、受付で参加者名簿と照合を行います。
入場の確認を行った後の作業として ↓ ↓ ↓

①参加費徴収（300円）

参加1名につき参加費300円を徴収してください。
※釣銭は別途用意します。領収証の発行はなし。

②入場者リストバンド

入場者リストバンド（午前青色、午後緑色）を参加者に渡し、腕に巻いていただく。
同時に前項にある配布チラシも保護者と参加者にお一人1枚（乳幼児は除く）渡す。

③区民証と資金50ミ\$のお渡し

入場者（イベントと参加者）に対し「こどものまち Mini Mini MidoriプラスSDGs 区民証」を渡す。
その際区民証にセットされた初期資金50ミ\$もセットでお渡し。
※区民証の裏側は、ジョブカード。

④大人観覧場所の説明

本イベントでは、大人（保護者など）の会場内動線、入場制限がある旨お伝える。

- ・観覧場所・・・観覧席のみ
- ・通行動線・・・公会堂2階部分アリーナの一部通路と観覧席および館内通路

※規制表示があるので従っていただく。
※企業・団体展示エリアへの入場は不可。

➡以上の流れで受付終了となり、受付を終了したら・・・

- 参加者（子ども）→2階エントランスにある「学校」ブースへ移動する旨お伝えし待機していただく。
（学校ブースでは遊び方やルールをフリップを使用し説明）
- 大人（保護者）→観覧席をご案内（2階からも入場可能）

その他業務

●落とし物、迷子対応（館内放送含む）

館内の落とし物や迷子について受付に持ってきてください。
館内放送の依頼は事業者スタッフに行ってください。

●傷病者対応

隣接する休憩コーナーを使用してください。

また、けが等救急要請が必要な場合は、適宜救急要請をしてください。※くれぐれも緊急要請が先をお願いします。報告等は後で構いません！

名称	仕様	用途	数量	手配先
テーブル・椅子	1800×450	テーブル2、椅子4	1式	館
釣銭	収納箱含む	500×4、100×10、箱2	1式	N
ブースサイン	450カク、スタンド		1枚	N
筆記用具類	ペン5、付箋3、メモ5	質問メモなど汎用的に使用	1式	N
アンケート用紙（大人）	A4		250枚	N
アンケート用紙（子ども）	A4		250枚	N
ペグシル			300本	N
受付リスト		※取扱い注意	1式	主
リストバンド		午前の部青500、午後の部緑500	1000枚	N
区民証			500枚	N
配布チラシ	A3二つ折り		700枚	N
資金	50ミ\$（10ミ\$札×5枚）	500名分	50×50 =2500枚	N

10. 「学校」ブース-①



概要

参加者に対しイベントの楽しみ方をフリップを使用し説明します。

人員体制・業務内容・・・東洋英和ボランティア3ポスト 説明フリップ

スライド1

1.はじめに

みなさんは、今から「子どものまち Mini Mini Midori プラス SDGs」の住人です。
今日は楽しんでいってくださいね！
これから、子どものまちのルールを説明します。

1. お金 (ミ\$・ミドル) の使いかた
2. 銀行・税務署 (銀行のしくみや税金について)
3. ジョブセンターのしくみ (アルバイトのしかたとアルバイト代のもらいかた)
4. 楽しく遊ぶためのおねがい

講堂内での飲食はできません。通路やホワイエを利用してください。

スライド2

1.お金の使いかた

「子どものまち」のお店でミ\$を使って遊んで、買って楽しむ！



「子どものまち」のお店でいろいろな商品や、ゲームをするのに使います。

商品やゲームの値段はお店ごとにちがうので、確認してくださいね！

スライド3

2-1.銀行・税務署



・学校が終わったら、
初めに銀行・税務署に行こう

- ※ ステージにあります。
- ※ 銀行と税務署は同じ場所です。

〈銀行〉では次のことをします。

- ・アルバイト代をもらう
- ・ミ\$を両替する



スライド4

2-2.銀行・税務署



〈税務署〉では次のことをします。

- ・区民税をはらう。

では、どんなときに区民税がかかるの？

- ・まちなに入场したら区民税10ミ\$を払います。
(区民税を払わないと遊べません)



スライド5

あそぶ！

残った40ミ\$で遊びたい！
(買いものをしたい)人は、
「こどものまち Mini Mini Midori プラスSDGs」で楽しんでいってくださいね！

はじめからミ\$がもっとほしい人や
遊んでミ\$がなくなった人は・・・

スライド6

3-1.ジョブセンター

〈ジョブセンター〉では次のことをします。

- ・アルバイトを探す
- ・アルバイトに申し込む



アルバイトの探し方・・・

- ・ジョブボードにアルバイト募集チラシがはってあるので、その中からやりたい仕事を見つけます。
- ・次に、ジョブセンターのスタッフにアルバイトをしたいお店を伝えて、ジョブストラップをもらってください (アルバイト中はジョブストラップはつけておいてください)。

10. 「学校」ブース-②



スライド8

3-2.ジョブセンター



- ・アルバイトは、**最大20分**です。
- ・アルバイト代は**募集チラシ**やお店で確認してください。
- ・アルバイト代はアルバイトが終わったら区民証の裏の**ジョブカード**にお店の**スタッフが記入**します。

アルバイトが終わったら、ジョブセンターへ行ってください。

ジョブセンターで「**ジョブストラップ**」を返してください。

最後に、銀行・税務署に行って、ジョブカードを見せて**アルバイト代**をもらいます。

スライド9

あそぶ！・ミ\$を貯める！

アルバイトが終わり、
遊びに出かける人は、
「**子どものまち Mini Mini Midori**プラスSDGs」を楽しんで
いってくださいね！

スライド10

お願いなど

- ・**実施時間**・・・
※建物の外へは出ないでくださいね。
- ・アルバイトの受付終了はイベント終了15分前です。
- ・会場内は走らないでください。
- ・大人のスタッフへの声かけ
(大人スタッフはスタッフバッヂをつけています。)
落とし物をした / ぐあいかわるい /
きゅうけいしたい / 遊び方がわからない！
など・・・何でも聞いてくださいね！

最後に、今日は**子どものまち Mini Mini Midori**プラスSDGs
楽しんでいってくださいね！

実施内容

- 実施はおおむね10名以上の入場者が集まったら実施してください。
- 1つの説明は1名で対応し合計4セットのフリップを用意します。
- 混雑は受付開始より約30分程度がピークとなります。

10. 「銀行・税務署」ブース 業務-①



概要

イベント内通貨の換金と入場時資金をお渡しします。

- 入場時・・・税金の徴収（区民税解いて一律10ミ\$を徴収し区民証にチェックをする）
- アルバイト代の支払い
 - ・・・イベント内の「お店」の手伝いを行った参加者が持ってくる「ジョブカード」に記載された額のアルバイト代をお渡しします。
- 両替・・・参加者の希望金種により両替を行います。（10、50、100ミ\$の3種類）

人員体制・業務内容 1班4名、横浜信用金庫中山支店2名、東洋英和ボランティア1名、事業者1名

銀行・税務署 業務内容

●入場時窓口業務

入場者が窓口に来場・・・10ミ\$を徴収し、区民証に支払チェック（スタンプ押印）を行う。

●アルバイト代の支払い時窓口業務

- ・アルバイトが済んだ参加者がが窓口に来場・・・区民証裏側のジョブカードの提示を求めてください→ジョブカードに記載してる金額を支払い、チェック欄にチェックマークを入れてください。

●アンケート記入者への対応業務

- ・区民証にミドリスタンプがあることを確認し、その横にチェック（√）をつけ、報酬10ミ\$を渡す。

●納税業務と預かり証の発行

- ①売上金の預かり・・・各「お店」・企業ブースが午前の部終了後、売上金を持ってきます（「お店」5店、企業3社分）
- ②税金の徴収・・・売上金の10%の「税金」を徴収してください。（端数四捨五入）
- ③預かり証の発行・・・売上金をもらった代わりに「預かり証」を発行してください。
- ④現金で支払い・・・預かり証の代わりにミ\$が欲しいという方には希望額のミ\$を渡してください。

※預かり証にする意図は・・・

ミ\$で「お店」に返すと銀行で使用するミ\$紙幣の量が減ってしまいます。（ミ\$紙幣の発行数の上限があるため）なるべく「預かり証」で渡してください。

※「お店」の売り上げ処理は？・・・

「お店」の売り上げは、「お店」を運営している実行委員の「儲け=実行委員の遊ぶ資金」となり実行委員が当イベント使用できるお金になります。

よって、税引き後のミ\$は・・・

①ミ\$紙幣にする※上記にあるように使用する分のみミ\$として、残金は「預かり証」を発行。

②預かり証にする

以上の、2つの方法となります。

※午後の部の税金徴収はどうする？

午後の部終了後はイベント自体終了してしまいますので、売り上げはそのまま預かってください。また、税金徴収もありません。

10. ジョブセンターブース 業務-②



概要

- アルバイトを希望している参加者に希望のアルバイトの「お店」を紹介と募集と求人管理。
- 希望者に該当する「お店」の「ジョブストラップ（アルバイトのあかし）」を渡し、お店や各募集先に行って、アルバイトをしてもらってください。
- アルバイト終了後「ジョブストラップ」は必ず返却。

人員体制・業務内容(運営は東洋ボランティア+アルバイト2ポスト)

業務内容

【ジョブボード（アルバイト求人チラシ貼り出しの管理）】

- ・ 所定のボードへの募集チラシの貼付管理（募集チラシは各募集先の「お店」などで作成し持ち込まれる）。
- ・ 定員になったら募集チラシは一時的にはがし（露出しない）てください。
- ・ イレギュラーとして当日発生した募集のアルバイトについては、所定事項を記入しジョブボードに掲出してください。

<記入所定事項>

- ①店名
- ②アルバイト内容
- ③アルバイト時間
- ④アルバイト代

【ジョブカード】→参加者には入場時区民証の裏側として渡します。

- ・ 区民証の裏側にジョブカードが印刷されています。
- ・ アルバイト先が記入する、報酬と報酬の渡しを確認するカード。

【ジョブストラップ】

- ・ アルバイトを行う参加者には必ず渡し、アルバイト中は着用してもらってください。
- また、アルバイト終了後は必ずジョブセンターへの返却を周知して下さい。

【アルバイト求人チラシ（募集の終了）の収納】

- ・ イベント終了15分前になったら、募集チラシの貼ってるボードは裏返し（募集を隠す）にしてください。募集を終了します。

ジョブストラップイメージ



ジョブカードイメージ



10. ジョブセンターブース 業務-②



参加フロー

「お店」の検索
＜参加者＞

アルバイトをする内容・対象年齢などが書かれている「ジョブボード」に貼付されているアルバイト募集チラシを参照し、参加者はアルバイトしたい「お店」や仕事を選ぶ。※求人チラシは、「お店」や募集先が作成。

アルバイトしたい「お店」が決まったら・・・

希望の「お店」を
告げる
＜参加者＞

希望の「お店」・職種をジョブセンタースタッフに告げる。

空き状況
の確認
＜スタッフ＞

希望の「お店」・職種の空き状況を確認する。
※「お店」ごとに募集数のジョブトラップを確認する。
※対象ストラップの残が**あれば**お手伝い可能。
なければ不可能

アルバイト可能な
「お店」が**決まったら**・・・

アルバイト可能な「お店」が
決まらなかったら・・・

再びスタッフに
状況を確認

「お店」へ
行って
アルバイト
＜参加者＞

「お店」や募集先に行って、アルバイト。
※スタッフは終了したらジョブカードに所定事項の記入を忘れずに確認。

「お店」再検索
＜参加者＞

再度「お店」や仕事をジョブボードで探し、決まったらスタッフに確認します。

仕事が終わったら・・・

ジョブ
センターへ
＜参加者＞

ジョブセンターへ**ジョブストラップを返却**
→

次は「銀行・税務署」でアルバイト代をジョブカードを参照し該当する報酬ミ\$を受け取り！

10.出展者共通事項 (子ども実行委員出店：6店/企業ワークショップ3店など)



1.まちの基本事項

<入場(参加)基本事項>

- ・初期資金のお渡しについて・・・「受付」業務
 - 参加者(事前応募の午前・午後各最大250名)は、入場受付時に初期資金として50ミ\$を受付でお渡しします。
 - 同時に「区民証」と裏面「ジョブカード」も併せてお渡しします。
- ・「学校」について・・・「学校」ブース業務
 - 受付後、参加者は2階エントランスに設けられた「学校」でMini Mini MidoriプラスSDGsの楽しみ方をフリップを使用した説明を受けます。
- ・区民税の支払いについて・・・「銀行・税務署」ブース
 - 参加者は、会場内ステージ上の「銀行・税務署」ブースで10ミ\$の区民税を支払います。支払資金は受付でもらった50ミ\$より支払い「区民証」の所定の場所にチェック(スタンプ押印)します。

※区民税の支払いがない方はMini Mini MidoriプラスSDGsで遊ぶことはできません。
- ・「お店」の運営と販売、納税について・・・「お店」
 - 実行委員による「お店」を実施。(午前・午後共に同一内容の販売やサービス)
 - 「お店」での販売には管理表への記入や売上げの収納を行う。
 - アルバイトの募集、受け入れを行う。
 - 午前・午後の部終了時に売上げより税金を10%「銀行・税務署」で収める。

※子ども実行委員の出店は5店となりますが、各店で販売する内容や商品・サービスは複数あります。

2.店舗の業務内容

【管理関係】※子ども実行委員出店のみ記入

- ・売上管理表への記入(次項参照)・・・所定の記載事項を随時記入。
午前の部終了時に銀行・税務署に売上金と一緒に収めてください。

【アルバイトの募集関係】

- ・事前に作成したアルバイト求人チラシに基づいて募集を行います(募集は「ジョブセンター」が行います)
- ・イベント中のアルバイト募集は、「ジョブセンター」スタッフに相談して新規に掲出してください(イレギュラーも対応します)

※記入用件は事項にある「**アルバイト募集に関すること**」を確認し作成してください。

※企業ブース(3階)やその他のアルバイトも募集しています。

【アルバイト受入れ関係】

- ・アルバイト希望者にお仕事をお願いしてください。※最大20分
- ・アルバイトする人にきちんと内容(アルバイトをお願いすることがら)を伝え、はじめは一緒にやってください。
- ・**アルバイト募集の終了はイベント終了15分前まで。**

【アルバイト終了時の業務】

- ・ジョブカードへの所定事項の記入
アルバイトをした人の持っている**ジョブカードに以下のことを必ず記入**してください!!
 - ①**アルバイトをした店名(班)**
 - ②**アルバイト代の金額**
- ・ジョブストラップのジョブセンターへの返却も促す。

10.アルバイト募集について



1. 募集概要

- 「お店」や出展団体などでアルバイト募集を行う。
- 記載フォームはありませんので自由にデザインした求人チラシを作ってください。以下の「求人チラシ作成概要」を参考にしてください。
※求人する「お店」や団体ごとに1枚の求人チラシにしてください。（アルバイト内容が多い場合は複数でも構いません）
- 求人チラシはイベント当日ジョブセンターに持ってきてください。
- 終了した求人はジョブセンターへ速やかに連絡してください。

2. 求人チラシ作成概要

【用紙仕様と記載方法】

- ・ A4サイズ（縦横は自由です）1枚（募集内容が多い場合は複数でも可）
- ・ デザインに関しても自由に作成。
- ・ 用紙の色は自由ですが「赤い紙にピンクの字」「緑紙に青い文字」など見づらくなり、見易さに配慮してください。また、難しい漢字には読み仮名を振ってください。
- ・ イラストをデザインしても構いません。

【募集記載要件4項目】

- ①店名または団体名
- ②対象年齢（あれば）
- ③アルバイト時間と内容（簡潔にお願いします）および募集人数
- ④アルバイト代金（時間ごとに異なる場合はそのことも記載）
例）受付 20分 50ミ\$ など

3. その他のアルバイトルール

- アルバイトの時間は**最大20分まで**。
- アルバイトの報酬は**最低10ミ\$**、以降10ミ\$単位として、**最大100ミ\$**。
- 参加者（アルバイト）の作業での危険な作業行為は禁止。
 - ・ 熱のあるもの（臭気を伴うもの）
 - ・ 刃を伴うもの
 - ・ 尖ったもの
 - ・ 長時間の立ち仕事や体力を消費させるもの
 - ・ 20分間の単純作業や体温変化をきたすもの など

※求人内容によりアルバイト内容の変更を相談する場合がありますのでご了承下さい。

11.企業ブース展開



①株式会社村田製作所

- ・ブースタイトル 「村田製作所 電子工作教室」
 - ・実施場所 公会堂3階 会議室
 - ・実施内容 太陽電池を使った工作キットを使用した工作教室の実施
- ※運営は出展事業者様による運営です。



②東洋英和女学院大学

- ・ブースタイトル 東洋英和女学院大学 「竹を使った工作教室」
 - ・実施場所 公会堂3階 会議室
 - ・実施内容 竹を素材としたワークショップを実施します。夏を彩る涼しいものづくりを体験してください。
- ※運営は出展事業者様による運営です。



③無印良品 500 ビーンズ中山

- ・ブースタイトル 間伐材デコレーション工作教室
 - ・実施場所 公会堂3階 会議室
 - ・実施内容 横浜市水源林の間伐材や株式会社ビルド提供のタイル等の廃材を使用したワークショップを実施
- ※また、運営は出展事業者様による運営です。



12.アンケート-①



概要

- ・ 来場者の「大人」「子ども」向けに2種類のアンケートを実施。
- ・ 参加者にはアンケートに記入（回答）していただき、参加者アルバイトに用紙を渡していただきます。その際区民証にミドリスタンプを押印し銀行・税務署で区民証を提示すると10ミ\\$を進呈。
- ・ 大人向け取得方法は、受付時に用紙と筆記用具を配布し、記入（回収は退場時に回収ボックスに投函していただく）。
- ・ アルバイトの起用・・・配布要員として参加者よりアルバイトを4名程度募集（報酬＝15分30ミ\\$）
- ・ 収集方法・・・①大人版⇒受付時に用紙と筆記用具を配布午前・午後で合計50名を目標とします。また、回答者にはボールペンを進呈します。回収は受付に回収ボックスを設置
- ②子ども版⇒参加者のアルバイトにより収集

アンケート用紙（大人用）

令和5年度 Mini Mini Midori アンケート（大人用）
8月20日（日）午前参加者用

アンケートの結果は、緑区ウェブページなどで掲載する予定です。ぜひ回答にご協力ください。

質問1 あなたの住まいはどこですか。当てはまるものに○をつけてください。
緑区内 緑区外

質問2 あなたの年齢について、当てはまるものに○をつけてください。
 20代 30代 40代 50代 60代 70代 80代以上

質問3 イベントについて質問します。子どもを参加させたいと思った理由を教えてください。
 1. 子どもが来た方がいいから 2. 子どもが喜ぶと思ったから
 3. 子どもに良い影響があると思ったから 4. 知人に誘われたから
 5. その他（ ）

質問4 イベントについて、良かった点を教えてください。 ()

質問5 イベントについて、改善点があれば教えてください。 ()

質問6 来年も「Mini Mini Midori プラス SDGs」を実施してほしいと思いますか？
 その理由を教えてください。
 1. 実施してほしい 2. どちらでもよい 3. 実施してほしくない
 理由 ()

質問7 ご自身のことについてお聞きします。
 あなたは、脱炭素につながる取り組みについて関心がありますか。
 1. 関心がある
 2. 関心がない

質問8 あなたは普段の生活の中で、脱炭素につながる行動に取り組んでいますか。
 1. 取り組んでいる → 質問9へ
 2. 取り組んでいないが、今後取り組んでいきたい → 質問10へ
 3. 取り組んでいないし、今後も取り組むつもりはない → 質問10へ

質問9 あなたが普段の生活の中で取り組んでいる脱炭素につながる行動について、当てはまる番号に丸をつけてください（複数回答可）。

	脱炭素につながる行動
1	使い捨てのプラスチック製品（ストロー、スプーンなど）を不要なときは受け取らない
2	資源物（牛乳パック、食品トレイ、ペットボトルなど）をスーパーの店舗に持ち込むなど、リサイクルする
3	自宅の電気やガス、水の使用量を把握し、省エネ・節水に取り組む
4	環境に配慮した電力会社を選んで契約する（再生可能エネルギーで発電する会社など）
5	移動には徒歩や自転車、公共交通機関を可能な限り利用する
6	宅配便は時間指定や宅配ボックスを利用し、1回で受取る
7	環境に配慮された製品・商品を選んで購入する（原料の調達や製造過程で環境に配慮しているものなど）
8	県産の野菜や果物を選んで購入する
9	食べ残しや食品ロスを減らすために、食料の購入量を減らす
10	花や木、野菜、緑のカーテンなどの植物を育てる

質問10 あなたはSDGs（持続可能な開発目標）についてどの程度知っていますか。
 1. 内容まで知っている。
 2. 名称だけ聞いたことがある。
 3. 全く知らない。

質問11 あなたは、SDGsに興味や関心がありますか。
 1. 興味や関心がある
 2. 興味や関心がない

質問12 あなたは普段の生活の中で、SDGsの目標達成に向けて意識的に行動していますか。
 1. 意識的に行動している → 質問13へ
 2. 意識的に行動していないが、今後は意識していきたい → 質問14へ
 3. 意識的に行動していないし、今後は意識するつもりはない
 → 質問は以上です、ありがとうございました。

質問13 あなたが普段の生活の中で取り組んでいるSDGsの番号に丸をつけてください。また、取り組んでいる内容について教えてください（複数回答可）。

SDGsの番号	目 標	具体的な行動
例 10	人や国の不平等をなくそう	フェアトレードの商品を買うようにしている。
1	貧困をなくそう	
2	飢餓をゼロに	
3	すべての人に健康と福祉を	
4	質の高い教育をみんなに	
5	ジェンダー平等を実現しよう	
6	安全な水とトイレを世界中に	
7	エネルギーをみんなに そしてクリーンに	
8	働きがいも 経済成長も	
9	産業と技術革新の基盤をつくろう	
10	人や国の不平等をなくそう	
11	住み続けられるまちづくりを	
12	つくる責任 つかう責任	
13	気候変動に具体的な対策を	
14	海の豊かさを守ろう	
15	陸の豊かさを守ろう	
16	平和と公正をすべての人に	
17	パートナーシップで目標を達成しよう	

質問14 あなたはSDGsの17の目標のうち、今後取り組んでいきたいと思う番号はどれですか。質問13の表を参考に、番号をご記入ください（複数回答可）。
 ()
 ご協力ありがとうございました。

令和5年度 ミニミニミドリアンケート・8月20日(日) 午前

ミニミニミドリプラスSDGsをもっと楽しくするためのアンケートです。
ご協力していただけたら、ひとり10ミドルをプレゼントします！

質問1 あなたは何才ですか。()才

質問2 来年もミニミニミドリプラスSDGsに参加したいですか。
また、その理由を教えてください。

1. 参加したい
2. 参加したくない

理由()

質問3 面白かったお仕事を教えてください。また、その理由を教えてください。

理由()

質問4 来年も、ミニミニミドリが開催されるとしたら、「こんなお仕事があったらいいな」と思うアイデアを教えてください。

()

質問5 将来、みんなが住むまちをよりよくするための活動をしたいですか。また、その理由を教えてください。

1. 活動したい
2. 活動したくない

理由()

質問6 将来の夢や、あこがれるお仕事があれば教えてください。

()

質問7 今日のイベントで感じたことや学んだことをお父さん、お母さん、近所の人、お友だちに話したいと思いますか。

1. はい
2. いいえ

質問8 あなたはSDGs(持続可能な開発目標)についてどのぐらい知っていますか。

1. 内容まで知っている。
2. 名前だけ聞いたことがある。
3. まったく知らない。

質問9 あなたはSDGsに興味や関心がありますか。

1. 興味や関心がある
2. 興味や関心がない

質問10 あなたは普段、SDGsの目標達成に向けて意識的に行動していますか。

1. 意識的に行動している
2. 意識的に行動していないが、今後は意識していきたい
3. 意識的に行動していないし、今後も意識するつもりはない

ご協力ありがとうございました。

12.アンケート集計（子ども）-①

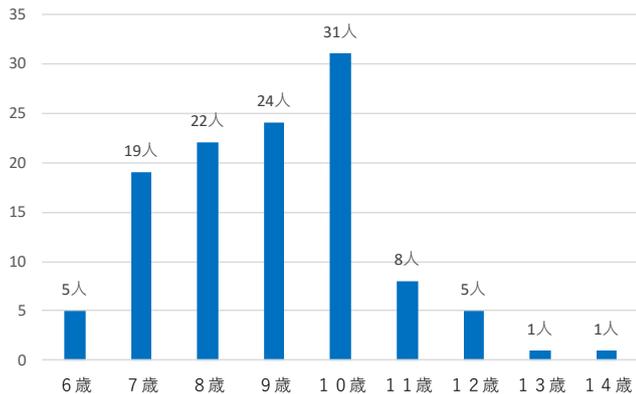


参加者（子ども）アンケートの集計

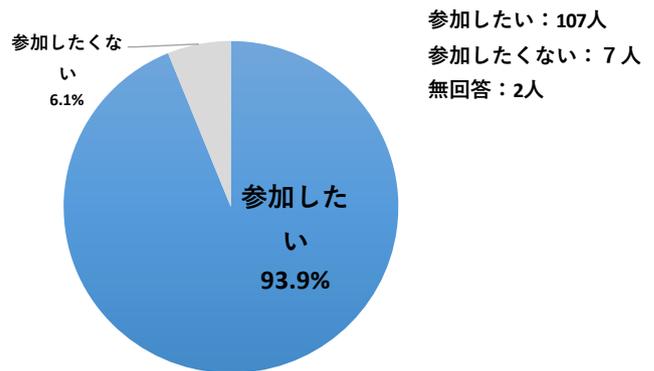
■回答者人数

1回目：61人
2回目：55人
合計：116人

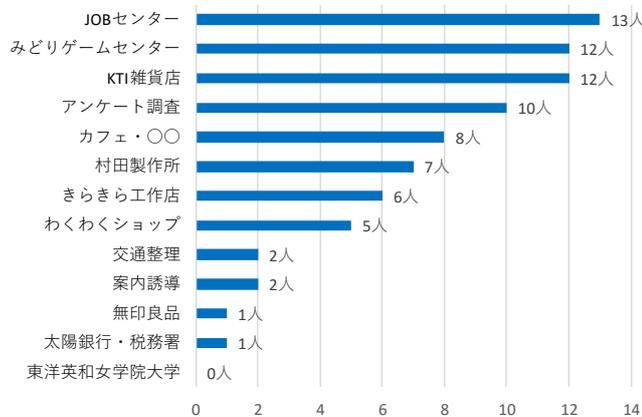
1 あなたは何歳ですか。



2 来年もミニミニドリプラスSDGsに参加したいですか。



3-1 面白かったお仕事を教えてください。



3-2 面白かったお仕事を教えてください（理由・抜粋）。

- ・ちょっと緊張したけどやったかいたがあった。
- ・宣伝だけだったけどやったらお客さんが来てくれて嬉しかった。
- ・みんなと少し話すのが楽しい。
- ・面白かったです。店長が優しくかったから。
- ・みんなが来てくれて楽しかったです。
- ・みんなが楽しそうにやってくれるから。
- ・普段自ら大人の人に声をかけていく機会が少ないから。
- ・みんなが商品を買ってくれたからです。
- ・みんなが集まってくれたから。
- ・ジョブセンターに集まっている人を助けられるから。
- ・お金がいっぱいもらえたから。
- ・ロボット足磨きの音が気持ち良かったから。
- ・お金を稼いでジュースや食べ物を買うのが面白い。
- ・宣伝してお店に来てくれたから。

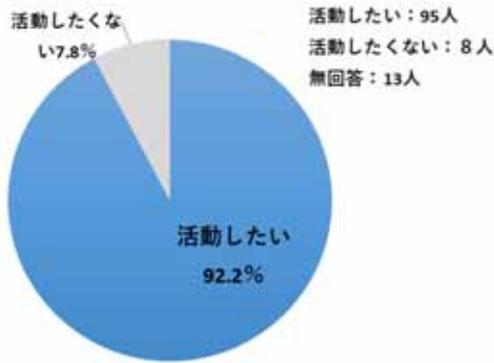
4 来年もミニミニドリが開催されるとしたら、「こんな仕事があったらいいな」と思うアイデアを教えてください（抜粋）。

- ・いろいろな物を作って子どもにプレゼントしたい
- ・画用紙に絵を描いてそれをもって帰る
- ・新聞を自分で書くところ（最新情報を）
- ・警察
- ・クレープ屋さん
- ・食べ物屋
- ・ピーズアクセサリー
- ・ラーメン屋さん
- ・音楽
- ・消防士
- ・スポーツ選手
- ・病院
- ・ケーキ屋
- ・タクシーかバス運転手
- ・放送局はあった方が賑やかで楽しい
- ・地球の仕組みが分かるもの
- ・ヨーヨー釣り屋さん
- ・ピアノを弾いて聞かせる
- ・理科の実験
- ・カジノ
- ・絵を描く
- ・工作でロボットを作る
- ・植物系のもの
- ・花屋とか
- ・クイズの店
- ・夏祭りの屋台に出てくるりんご飴、綿あめを作る仕事などです
- ・クレーンゲーム
- ・「心アップ」という店で人の手伝いなど優しいことをする仕事です。
- みんなの心が優しくなるからです

12.アンケート集計（子ども） -①



5-1 将来みんなが住むまちをよくするための活動をしたいですか。



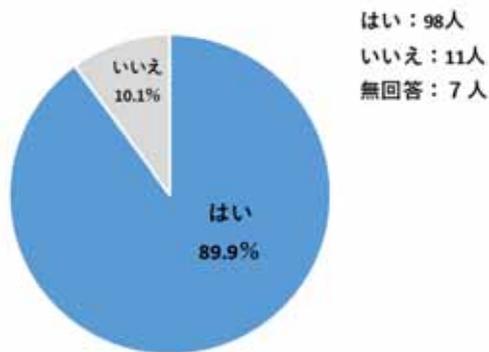
5-2 理由を教えてください（抜粋）。

- ・このまちをもっと平和にしたいからです
- ・みんながまちに楽しく暮らせるしみんなど友達になれるから
- ・みんなを笑顔にしたいから
- ・活動したらもっとよい町にできるかなと思ったからです
- ・みんながより気持ちよく住めるように
- ・安心して暮らせるように
- ・昔、戦争があったから
- ・不平等を無くしたいから
- ・みんなが楽しく住める場所にしたい
- ・その活動をすると気持ちよくまちに住めるから
- ・まちがよくなったら気持ちがいいからです
- ・未来のためにやる
- ・緑区をもっと住みやすくしたい
- ・もっと明るいまちにしたい
- ・活動すればみんなが笑顔になるから
- ・いろんな人が安心して活動してほしいから
- ・みんなが気分よく住めるまちにしたいから
- ・世界が良くなったら嬉しいから
- ・みんなが良い気持ちになると自分も気持ちよくなるから
- ・自分も住みやすくなるから
- ・住みやすい環境にしたいから
- ・ごみがいっぱい落ちているから
- ・みんなが住みやすいとニコニコするから
- ・まちが良くなったらみんなにいいことがあるから
- ・地球温暖化を止めたい
- ・将来良くする活動をすれば2030年に温暖化が起こらないと思うから
- ・よりよくするには活動をしないといけないから
- ・みんなが笑顔になれるような活動をしたいからです

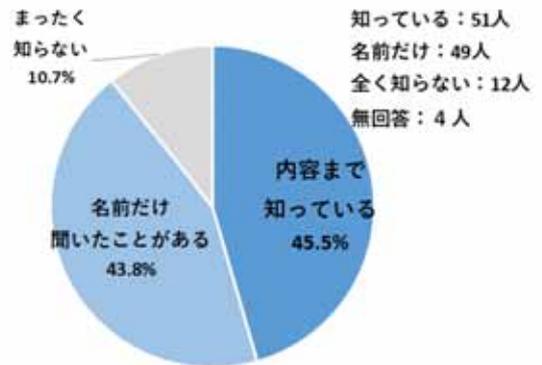
6 将来の夢やあこがれるお仕事があれば教えてください（抜粋）。

ケーキ屋さん、おりがみづくり、いいお母さん
 動物園の飼育員、お花屋さん、保育園、幼稚園、医者、保育士、サラリーマン、看護師、コーヒー屋さん、テレビに出たい、バレエダンサー、保育士、お祭りのお仕事がしたい、踊りたい、ピアニスト、パン屋さん、サッカー、パティシエ、年収3,000万のサラリーマン、宝石に関する仕事、警察官、
 鉄道会社の社長、宅配便、サッカー選手、スポーツ選手、学校の先生、ペットショップ、アクセサリー屋さん、保護犬、学校の先生、鉄道の整備士、弁護士、研究職、ゲームクリエイター、料理人、眼科医、宇宙飛行士、ネイリスト、科学者、アイドル、ペットショップ、ペットサロン、プロゲーマー、自衛隊、放射線技師、絵描き屋さん、芸能人、漫画家、ニート、YouTuber、美容師

7 今日のイベントで感じたことや学んだことをお父さん、お母さん、近所(きんじょ)の人、お友だちに話したいと思いませんか。



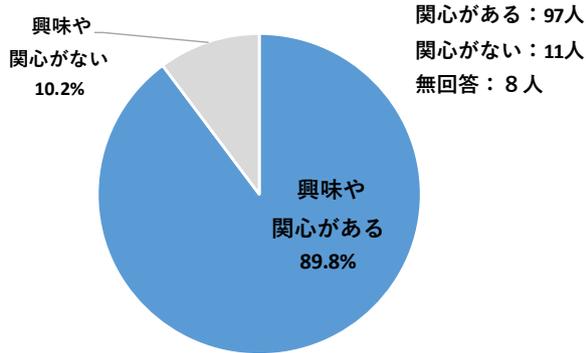
8 あなたはSDGs（持続可能な開発目標）についてどのくらい知っていますか。



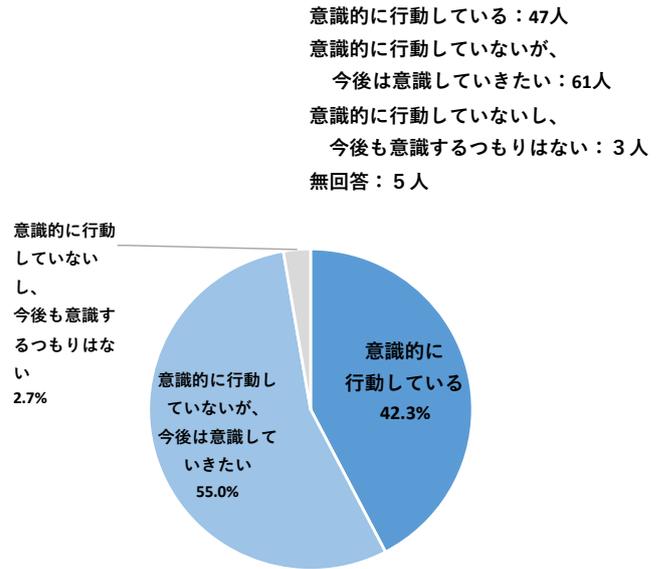
12.アンケート集計（子ども） -①



9 あなたはSDGsに興味や関心がありますか。



10 あなたは普段、SDGsの目標達成に向けて意識的に行動していますか



12.アンケート集計（大人） -②



大人アンケートの集計

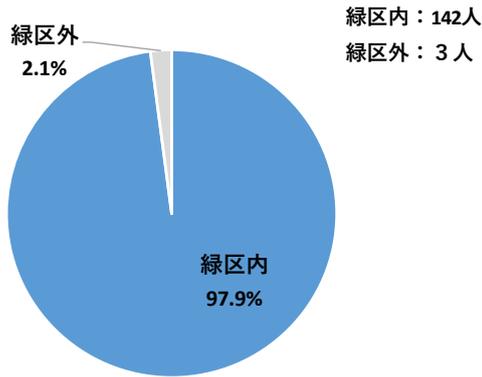
■回答者数

1回目：56人

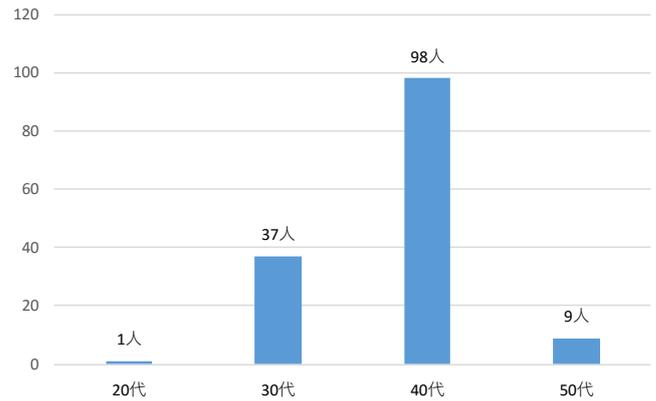
2回目：89人

合計：145人

1 お住まいについて

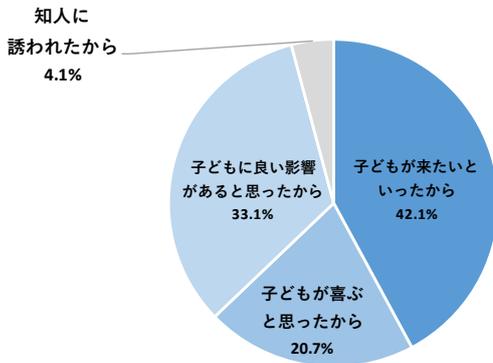


2 年代について



3 子どもを参加させたいと思った理由を教えてください。

子どもが来たいといったから：51人
 子どもが喜ぶと思ったから：25人
 子どもに良い影響があると思ったから：40人
 知人に誘われたから：5人
 無効票：22人



4 イベントの良かった点を教えてください。（抜粋）

- ・子どもが親と離れて、自分で考えてお店を回ったり、並んだりして行動できたところがよかった。大人が介入しないところがよい。
- ・実際に職業体験のようなこと、お金（ミドル）を用いて学べる点
- ・働くこととお金を使うこと両方が学べる。
- ・色々体験できて、自主性がついて楽しそう。
- ・働くことが大変ってことがわかる。
- ・子どもだけで最後までやり遂げるところ。
- ・運営まで子どもが深く関わる点。
- ・大人が口出しせず、子どもたちが教えあって協力して参加している点。
- ・働いてお金を稼ぎ、使うという仕組みが分かりやすい。
- ・地域や子ども、企業を巻き込んだ意欲的な企画である。
- ・お店で働いたりお金をもらって遊んだり楽しくSDGsについても学べていいなと思いました。
- ・実行委員で参加しました。企業見学やSDGsについて考える機会ができたことがよかったです。
- ・子どもが自主的に働くことを体験できる点。SDGsについて意識できる点。
- ・3回目の参加です。初めてやっていたところを見れてうれしいです。
- ・必要に応じて大人スタッフがアナウンスを入れていたところ。JOBセンターの列と銀行の列と。
- ・子どもはまち（社会）の全体感をイメージできるようになるところ。働いてお金をもらえること。
- ・たくさんの人の中で自分が聞きたいことを人を探してたずねるなどコミュニケーションの練習にとってもよかったから。
- ・大人が必要以上に手を出さないことで自分で考えて行動できたと思います。
- ・お給料でどんなものを使うのか、自分で考えられる点。仕事の選び方。

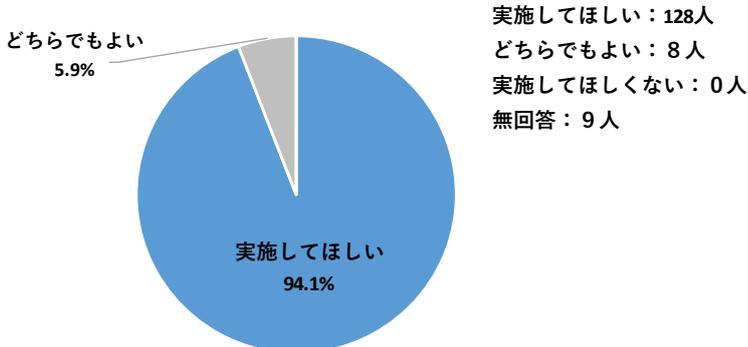
12.アンケート集計（大人） -②



5 イベントの改善点があれば教えてください（抜粋）。

- ・導線がイマイチ。1回あたりの子どもの定員が少し多いと思う。保護者のリストバンドが一部の人には分かりにくく、混雑していた様子。
- ・ジョブセンターに人が多く並んでおり、並ぶ時間が長く、遊ぶ時間が少なくなってしまいました。
- ・低学年の子どもには少し難しそうだったので、サポートがあるとよいかと思いました。
- ・大人も（1つだけ）体験させてほしい。
- ・今回は大人が見られるスペースがあったのはよかったが、会場が狭い＆色々なところに分かれていたため、子どもには分かりにくかった。一目で見渡せる場所だとよかった。
- ・スタッフや実行委員が分かりやすい服装だといい。
- ・観覧席が食事禁止であることが親に伝わっていなかった。張り紙があるとよい。
- ・受付時、外で列になったが、日向で危ない。2列に並ぶなど工夫してほしい。
- ・最初は子どもが戸惑っているように見えた。困っている子へのフォローがあるとよい。
- ・舞台上の長い列、待ち時間を有効に使えともっと充実するかなと感じました。
- ・仕事の種類や数を増やしたり、仕事の申込み待ちが少なくなったらいいですね。
- ・ジョブセンターの列の長さ！3階のブースに気づいていない人が多い。お店を増やす、効率よく遊べるとよいと思います。
- ・1年生で初めての参加だったので、分かりづらく初めは泣きそうだった。ルールの説明を事前にプリントや動画で親に知らせてほしかった。家で練習したかった。
- ・子ども主体の企画と思うが、大人が1人で参加している子どものフォローや親が子どもと話ができるタイミングがあれば良いと感じた。
- ・1年生にはまだ理解できない部分があるので（言葉や仕組み）、もう少し補助係がほしかった。
- ・スタッフとお客さんが分かりにくい。誰がスタッフが分かるようになってほしい。
- ・混雑で順番を守れない子どもがいたので、時間帯を分けるなどしてほしい。
- ・参加人数が多すぎる。何もしてない子にフォローした方がよい。店側の担当が分かりにくい。ユニフォームやビブスがあるとよい。
- ・入場してすぐ仕事を探す人の列が長く、ほとんど動かなかったの、改善するとよいのではないのでしょうか。
- ・アルバイトしている人とそうでない人の区別がつきにくい。腕章つけるとか。
- ・アナウンスが子どもには難しいのでは。アルバイト、給料・・・低学年には分からないのでは。

6-1 来年も「Mini Mini Midori プラス SDGs」を実施してほしいと思いますか。



6-2 来年も「Mini Mini Midori プラス SDGs」を実施してほしいと思いますか（理由・抜粋）。

●「実施してほしい」の理由

- ・今年初めて参加だったので、続けていただければ2、3回と仕組みを理解した上で参加できるからです。
- ・子どもたちがまちを作り運営をしていくシステムがとてもよい。
- ・お金と経済・SDGsを知る機会になる。
- ・生きていくのに必要なことが学べるので。
- ・運営も子どもたちで行い、自主性が養えると思うため。
- ・地元で友達と参加できるイベント。とてもありがたい。
- ・SDGsをより身近に感じて実行できるから。
- ・夏休み長いのでイベントがあると助かる。
- ・仕事、お金が回る仕組みなど社会を体験できる点。とても学びが多い。
- ・親が口を出せない場を作ってあげたいので。
- ・他にこのようなイベントはないし、子どもがとても楽しみにしているの。
- ・毎年楽しみにしています。今幼稚園の子も小学生になったら参加したいと言っています。

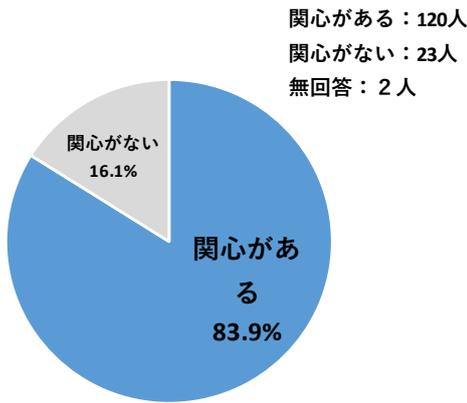
●「どちらでもよい」の理由

- ・この場所で実施するには、改善点があり、それをクリアしないと組み合わせは変わらない。
- ・普通にミニミニドリ行ってほしい。
- ・子どもが楽しく参加できなかったから。子どもがSDGsをどれほど理解できたのか不明。
- ・SDGsはあまり無理に結びつけなくてもよいのでは？
- ・SDGsと言えばよい、みたいなのは安直で好きではない。思考停止。お教の類。

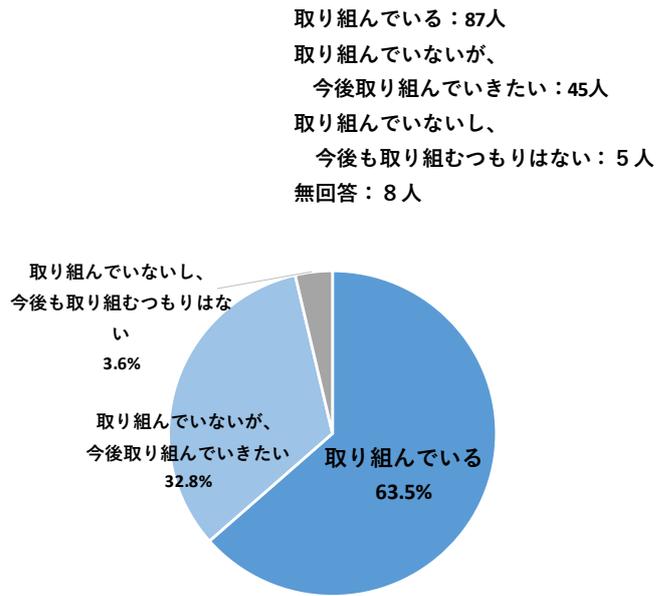
12.アンケート集計（大人） -②



7 あなたは、脱炭素につながる取り組みについて関心がありますか。

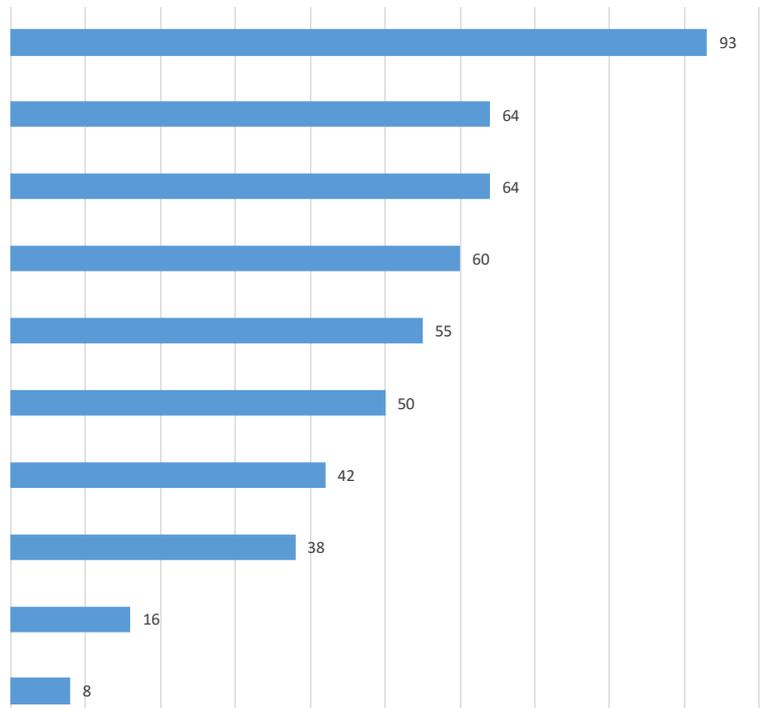


8 あなたは普段の生活の中で、脱炭素につながる行動に取り組んでいますか。



9 あなたが普段の生活の中で取り組んでいる脱炭素につながる行動について、当てはまる番号に丸をつけてください（複数回答可）。

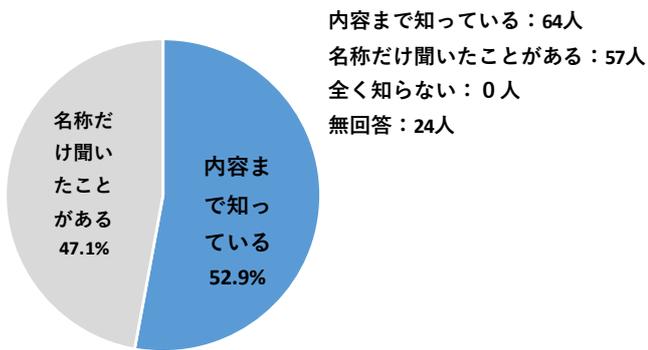
- 使い捨てのプラスチック製品（ストロー、スプーンなど）を不要なときは受け取らない
- 移動には徒歩や自転車、公共交通機関を可能な限り利用する
- 資源物（牛乳パック、食品トレイ、ペットボトルなど）をスーパーの店頭を持ち込むなど、リサイクルする
- 宅配便は時間指定や宅配ボックスを利用し、1回で受取る
- 環境に配慮された製品・商品を選んで購入する（原料の調達や製造過程で環境に配慮しているものなど）
- 食べ残しや食品ロスを減らすために、食料の購入量を減らす
- 環境に配慮した電力会社を選んで契約する（再生可能エネルギーで発電する会社など）
- 横浜産の野菜や果物を選んで購入する
- 花や木、野菜、緑のカーテンなどの植物を育てる
- 自宅の電気やガス、水の使用量を把握し、省エネ・節水に取り組む



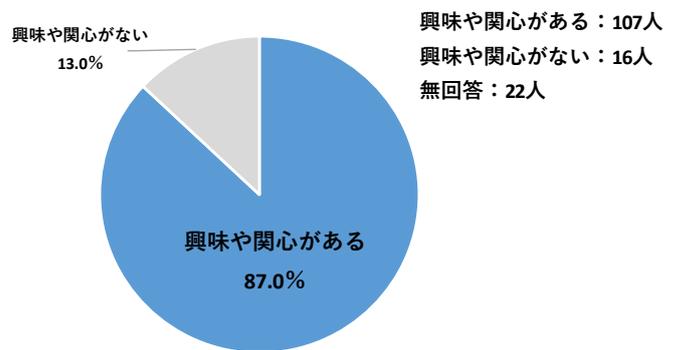
12.アンケート集計（大人） -②



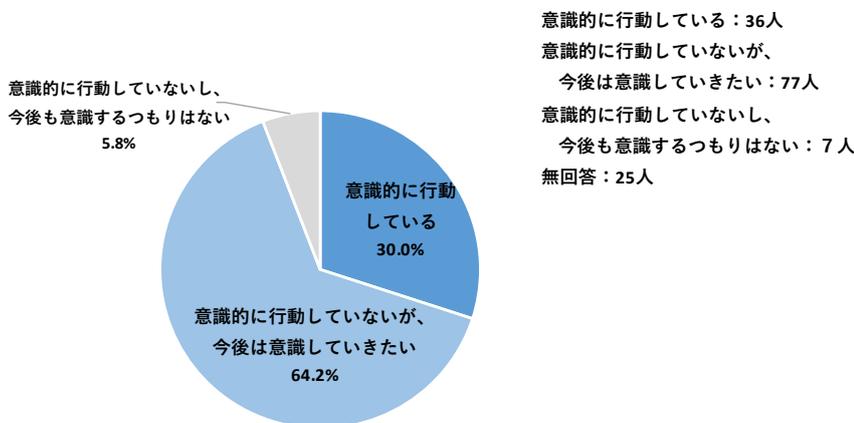
10 あなたはSDGs（エスディーゼズ）（持続可能な開発目標）についてどの程度知っていますか。



11 あなたは、SDGsに興味や関心がありますか。

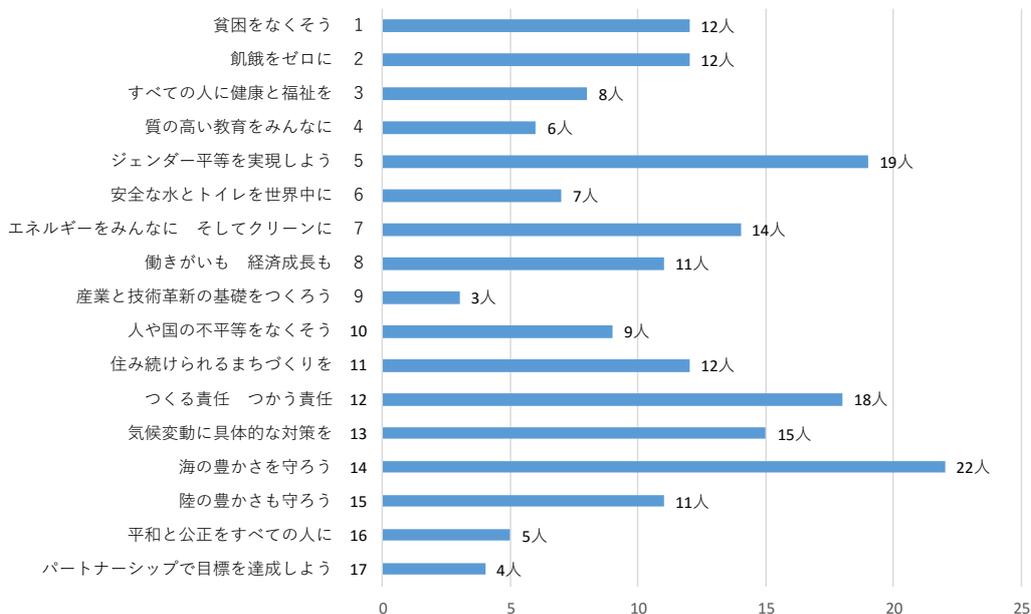


12 あなたは普段の生活の中で、SDGsの目標達成に向けて意識的に行動していますか。



13 あなたが普段の生活の中で取り組んでいるSDGsの番号を教えてください。また、取り組んでいる内容について教えてください（複数回答可）。

●取り組んでいる番号



12.アンケート集計 (大人) -②



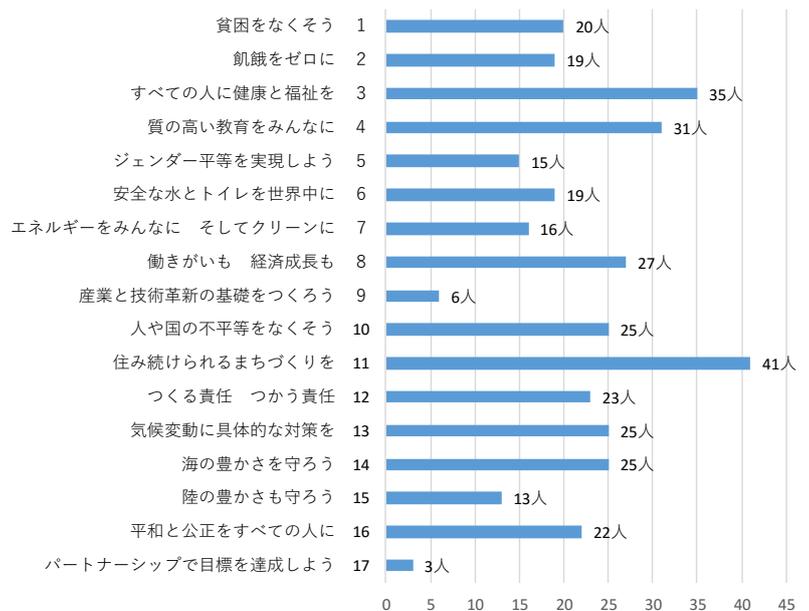
●取り組んでいる内容

- 1番 貧困をなくそう
 - ・寄付や募金を行う
 - ・フードバンクへの寄付
- 2番 飢餓をゼロに
 - ・賞味期限の短いものから購入する
 - ・こども食堂への寄付 (食品)
- 3番 すべての人に健康と福祉を
 - ・ユニセフのワクチン (ペットボトルキャップ)
 - ・健康診断を受けている
- 4番 質の高い教育をみんなに
 - ・横浜市や様々な教育の機会を利用している
 - ・教育についての学習
- 5番 ジェンダー平等を実現しよう
 - ・テレビのニュースで取り上げられた時などジェンダーの意味を話している
 - ・男の子だから、女の子だからと言わない
 - ・絵本などを通して子どもにも理解できるように話をする
- 6番 安全な水とトイレを世界中に
 - ・お風呂のお湯の再利用
 - ・水をなるべく汚さないよう皿はふいてから洗う
- 7番 エネルギーをみんなに そしてクリーンに
 - ・自然にかえる洗剤や材料が使われているものを買う
 - ・節電
 - ・なるべく車より自転車を使っている
 - ・再生可能な資源はなるべくリサイクルに出す
- 8番 働きがいも 経済成長も
 - ・地球環境に配慮した会社を応援し、不便さや値段より優先してサービスやを購入する
 - ・障がい者雇用
 - ・安いものばかり買わず、その値段には意味があると思うものを買う
 - ・ワークエンゲージメントの意識
- 9番 産業と技術革新の基礎をつくろう
 - ・新技術開発の手助け
- 10番 人や国の不平等をなくそう
 - ・フェアトレードの商品を見つけている
- 11番 住み続けられるまちづくりを
 - ・緑区の緑地化を応援しています。中山小学校のPTA活動に参加して街づくり一緒に行く。
 - ・自分勝手な行動は慎む
 - ・地域の活動への参加
 - ・きれいに街を保つ
- 12番 つくる責任 つかう責任
 - ・リサイクルできないものは購入しない
 - ・物を大切に、3Rに取り組む
 - ・家庭で使う物を購入検討をする際、長く使えるもの、手放すその時のことまで考える
 - ・壊れるまで使う、使えるものはリサイクルや寄付
 - ・無駄なものを買わない、買ったらしっかり使う

●取り組んでいる内容

- 13番 気候変動に具体的な対策を
 - ・省エネ、電気を使わない工夫をする
 - ・脱炭素に向けてリサイクル、プラごみ削減 (マイボトル等)
 - ・エアコンを使用する際、温度を1度、無理ない程度に調整する
 - ・再エネを利用する。火力発電に対し廃止を求める署名活動など
- 14番 海の豊かさを守ろう
 - ・プラスチックごみについて考えたり、自然や動物を保護するための活動やニュースに触れる機会を多くつくる
 - ・海でのごみ拾い参加
- 15番 陸の豊かさを守ろう
 - ・無農薬の野菜を定期購入している
 - ・環境に配慮した製品を選んでいる
 - ・コンポスト・家庭菜園
- 16番 平和と公正をすべての人に
 - ・公正に取引されているバナナを買う
 - ・選挙に行っている
- 17番 パートナーシップで目標を達成しよう
 - ・SDGs活動への積極的参加

14 あなたはSDGsの17の目標のうち、今後取り組んでいきたいと思う番号はどれですか (複数回答可)





■ 入場時



■ 入場時



■ 受付



■ 受付



■ 学校



■ 学校



■会場入場シーン



■1班「銀行・税務署」



■1班「銀行・税務署」



■1班「銀行・税務署」



■ジョブセンター



■求人ボード



■ 2班「KT I 雑貨店」



■ 2班「KT I 雑貨店」



■ 3班「きらきら工作店」



■ 3班「きらきら工作店」



■ 4班「みどりゲームセンター」



■ 4班「みどりゲームセンター」



■ 5班「わくわくショップ」



■ 5班「わくわくショップ」



■ 6班「カフェ・〇〇」



■ 6班「カフェ・〇〇」



■ 会場内風景



■ 会場内風景



■ SDGsへの取り組みパネル展展示



■ SDGsへの取り組みパネル展展示



■ 大型モニターによる発表映像放映



■ 株式会社村田製作所ブース



■ 株式会社村田製作所ブース



■ 株式会社村田製作所ブース



■無印良品 500 ビーンズ中山ブース



■無印良品 500 ビーンズ中山ブース



■無印良品 500 ビーンズ中山ブース



■東洋英和女学院大学ブース



■東洋英和女学院大学ブース



■東洋英和女学院大学ブース



■ 山中横浜市長と河野教授



■ 山中横浜市長展示視察



■ 山中横浜市長視察



■ 山中横浜市長挨拶



■ 終了時挨拶



■ 集合写真